

大学番号：私056

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

開智国際大学 教育学部 教育学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人開智学園
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務学生課

職名・氏名 課長 ^{イシダ アツシ} 石田 淳

電話番号 04-7167-8655

（夜間） 同上

F A X 04-7163-0096

e-mail atsushi.ishida@kaichi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

<教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	23
4. 既設大学等の状況	25
5. 教員組織の状況	27
6. 附帯事項等に対する履行状況等	53
7. その他全般的事項	55

教育学部

<教育学科 初等教育専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	59
2. 授業科目の概要	63
3. 施設・設備の整備状況、経費	81
4. 既設大学等の状況	83
5. 教員組織の状況	85
6. 附帯事項等に対する履行状況等	111
7. その他全般的事項	113

教育学部

<教育学科 中等教育専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	117
2. 授業科目の概要	121
3. 施設・設備の整備状況、経費	139
4. 既設大学等の状況	141
5. 教員組織の状況	143
6. 附帯事項等に対する履行状況等	169
7. その他全般的事項	171

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
英語	英語 A I	1 前	1					1			3
	英語 A II	1 後	1					1			3
	英語 B I	1 前	1					1			3
	英語 B II	1 後	1					1			3
	英語 C I	1 前	1					1			3
	英語 C II	1 後	1					1			3
	英語 D I	1 前	1					1			3
	英語 D II	1 後	1					1			3
	英語 E I	2 前	1					1			3
	英語 E II	2 後	1					1			3
	英語 F I	2・3・4 前		1				1			
	英語 F II	2・3・4 後		1				1			
	英語 G I	2・3・4 前		1				1			
	英語 G II	2・3・4 後		1				1			
小計 (14科目)	—	—	10	4	0	0	0	1	0	0	兼5
論理的思考 ／ 表現的思考	論理的思考法	1 前		2							1
	論理的表現法	1 後		2							1
	プレゼンテーション A (日本語)	1 後		2							1
	プレゼンテーション B (English)	2・3・4 前		2							1
小計 (4科目)	—	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼2
人文科学	哲学	1・2・3・4 前		2							1
	倫理学	1・2・3・4 前		2							1
	宗教学	1・2・3・4 後		2							1
	心理学概論	1・2・3・4 前		2		1					1
	芸術学	1・2・3・4 前		2							1
	日本文学史	1・2・3・4 前		2		1					1
	史学概論	1・2・3・4 前		2							1
小計 (7科目)	—	—	0	14	0	2	0	0	0	0	兼3
社会科学	憲法	1・2 前		2							1
	法学	1・2・3・4 後		2							1
	政治学	1・2・3・4 前		2							1
	経済学	1・2・3・4 前		2							1
	経営学	1・2・3・4 後		2							1
	社会学	1・2・3・4 後		2							1
小計 (6科目)	—	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼5
自然科学	生物学	1・2・3・4 後		2							1
	人間工学	1・2・3・4 後		2							1
	物理学	1・2・3・4 前		2							1
	地球科学	1・2・3・4 後		2							1
	数学	1・2・3・4 前		2		1					1
小計 (5科目)	—	—	0	10	0	1	0	0	0	0	兼2
外国語	ドイツ語 I	1・2 前		1							1
	ドイツ語 II	1・2 後		1							1
	フランス語 I	1・2 前		1		1					1
	フランス語 II	1・2 後		1		1					1
	中国語 I	1・2 前		1			1				1
	中国語 II	1・2 後		1			1				1
小計 (6科目)	—	—	0	6	0	1	1	0	0	0	兼1
総合	グローバル社会を生きる	1 前		2							2
小計 (1科目)	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
スポーツ 健康	スポーツ実技 I	1 前		1			1				
	スポーツ実技 II	1 後		1			1				
	健康づくり運動論	2・3・4 前		2			1				
	小計 (3科目)	—	—	0	4	0	0	1	0	0	0
情報	情報機器の操作 I	1 前		2							2
	情報機器の操作 II	1 後		2							2
	情報処理概論	1 前		2							1
小計 (3科目)	—	—	2	4	0	0	0	0	0	0	兼2

【令和元年度】※平成29～30年度入学者

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
英語	英語 A I	1 前	1					1			3
	英語 A II	1 後	1					1			3
	英語 B I	1 前	1					1			3
	英語 B II	1 後	1					1			3
	英語 C I	1 前	1					1			3
	英語 C II	1 後	1					1			3
	英語 D I	1 前	1					1			3
	英語 D II	1 後	1					1			3
	英語 E I	2 前	1					1			3
	英語 E II	2 後	1					1			3
	英語 F I	2・3・4 前		1				1			
	英語 F II	2・3・4 後		1				1			
	英語 G I	2・3・4 前		1				1			1
	英語 G II	2・3・4 後		1				1			1
小計 (14科目)	—	—	10	4	0	0	0	1	0	0	兼8
論理的思考 ／ 表現的思考	論理的思考法	1 前		2							1
	論理的表現法	1 後		2							1
	プレゼンテーション A (日本語)	1 後		2							1
	プレゼンテーション B (English)	2・3・4 前		2							1
小計 (4科目)	—	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼2
人文科学	哲学	1・2・3・4 前		2							2
	倫理学	1・2・3・4 前		2							2
	宗教学	1・2・3・4 後		2							1
	心理学概論	1・2・3・4 前		2		1					1
	芸術学	1・2・3・4 前		2							1
	日本文学史	1・2・3・4 前		2		1					1
	史学概論	1・2・3・4 前		2							1
小計 (7科目)	—	—	0	14	0	2	0	0	0	0	兼4
社会科学	憲法	1・2 前		2							2
	法学	1・2・3・4 後		2							1
	政治学	1・2・3・4 前		2							1
	経済学	1・2・3・4 前		2							1
	経営学	1・2・3・4 後		2							1
	社会学	1・2・3・4 後		2							2
小計 (6科目)	—	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼6
自然科学	生物学	1・2・3・4 後		2							1
	人間工学	1・2・3・4 後		2							1
	物理学	1・2・3・4 前		2							1
	地球科学	1・2・3・4 後		2							1
	数学	1・2・3・4 前		2		1					1
小計 (5科目)	—	—	0	10	0	1	0	0	0	0	兼4
外国語	ドイツ語 I	1・2 前		1							1
	ドイツ語 II	1・2 後		1							1
	フランス語 I	1・2 前		1		1					1
	フランス語 II	1・2 後		1		1					1
	中国語 I	1・2 前		1			1				1
	中国語 II	1・2 後		1			1				1
小計 (6科目)	—	—	0	6	0	1	1	0	0	0	兼1
総合	グローバル社会を生きる	1 前		2							2
小計 (1科目)	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
スポーツ 健康	スポーツ実技 I	1 前		1			1				
	スポーツ実技 II	1 後		1			1				
	健康づくり運動論	2・3・4 前		2			1				
	小計 (3科目)	—	—	0	4	0	0	1	0	0	0
情報	情報機器の操作 I	1 前		2							2
	情報機器の操作 II	1 後		2							2
	情報処理概論	1 前		2							1
小計 (3科目)	—	—	2	4	0	0	0	0	0	0	兼2

【認可時又は届出時】

【令和元年度】※平成29～30年度入学者

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教育の基礎	教育学概論 [小]	1前	2		1						
	教育学概論 [中・高]	1前	2		1						
	教職論 [小]	1前	2		1						
	教職論 [中・高]	1前	2		1						
	教育行政学 [小]	1後	2		1						
	教育行政学 [中・高]	1後	2		1						
	教育課程論 [小]	1後	2		2					1	
	教育課程論 [中・高]	1後	2		2					1	
	教育方法論 [小]	2前	2		2					1	
	教育方法論 [中・高]	2前	2		2					1	
	教育法規 [小]	2前	2		1						
	教育法規 [中・高]	2前	2		1						
	教育時事問題	3前	2			1					
	青少年と国際教育	3前	2							1	
小計 (14科目)	—	0	28	0	1	1	0	0	0	兼2	
教育を支える心理学	心身の発達と学習過程 [小]	1後	2		1						
	心身の発達と学習過程 [中・高]	1後	2		1						
	教育心理学	1後	2		1						
	発達心理学	1後	2		1						
	青年心理学	1前	2		1						
	社会心理学	1後	2		1						
	学校心理学	2前	2		1						
	発達支援論	2前	2		1						
	障がい児・者の心理学	2前	2		1						
	家族心理学	2後	2		1						
	臨床心理学	2前	2		1						
	パーソナリティ心理学	2前	2							1	
	健康心理学	2後	2		1						
小計 (13科目)	—	0	26	0	3	0	0	0	0	兼1	
教育者としての専門性	道徳教育の理論と方法 [小]	2前	2			1					
	道徳教育の理論と方法 [中]	2前	2			1					
	特別活動の理論と方法 [小]	2後	2							1	
	特別活動の理論と方法 [中・高]	2後	2							1	
	生徒指導論 [小]	2前	2							1	
	生徒指導論 [中・高]	2前	2							1	
	学級経営論 [小]	2後	1							1	
	学級経営論 [中・高]	2後	1		1						
	進路指導論 [小]	2後	1							1	
	進路指導論 [中・高]	2後	1							1	
	教育相談 [小]	3前	2			1					
	教育相談 [中・高]	3後	2			1					
	教育における調査と統計	3後	2			1					
	国際バカロレア教育研究	3後	2							1	
	ICTを活用した授業実践研究A	2前	2							1	
	ICTを活用した授業実践研究B	2後	2							1	
	青少年と情報メディア	3後	2							1	
小計 (17科目)	—	0	30	0	2	1	0	0	0	兼7	
児童教育の専門科目	国語科教育研究 (書写を含む)	1前	2			1					
	社会科教育研究	1前	2			1					
	算数科教育研究Ⅰ	1前	2			1					
	算数科教育研究Ⅱ	1後	2			1					
	理科教育研究Ⅰ	2前	2				1				
	理科教育研究Ⅱ	2後	2				1				
	生活科教育研究	1前	2				1				
	音楽科教育研究Ⅰ	1前	2				1				
	音楽科教育研究Ⅱ	1後	2				1				
	図画工作科教育研究Ⅰ	1前	2							1	
	図画工作科教育研究Ⅱ	1後	2							1	
	家庭科教育研究	2後	2							1	
	体育科教育研究Ⅰ	1前	2			1					
	体育科教育研究Ⅱ	1後	2			1					
	外国語活動研究	2前	2							1	
小計 (15科目)	—	0	30	0	3	2	2	0	0	兼3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教育の基礎	教育学概論 [小]	1前	2		1						
	教育学概論 [中・高]	1前	2		1						
	教職論 [小]	1前	2		1						
	教職論 [中・高]	1前	2		1						
	教育行政学 [小]	1後	2		1						
	教育行政学 [中・高]	1後	2		1						
	教育課程論 [小]	1後	2		2					1	
	教育課程論 [中・高]	1後	2		2					1	
	教育方法論 [小]	2前	2		2					1	
	教育方法論 [中・高]	2前	2		2					1	
	教育法規 [小]	2前	2			1					
	教育法規 [中・高]	2前	2			1					
	教育時事問題	3前	2				1				
	青少年と国際教育	3前	2							1	
小計 (14科目)	—	0	28	0	1	1	0	0	0	兼2	
教育を支える心理学	心身の発達と学習過程 [小]	1後	2		1						
	心身の発達と学習過程 [中・高]	1後	2		1						
	教育心理学	1後	2			1					
	発達心理学	1後	2			1					
	青年心理学	1前	2			1					
	社会心理学	1後	2			1					
	学校心理学	2前	2			1					
	発達支援論	2前	2			1					
	障がい児・者の心理学	2前	2			1					
	家族心理学	2後	2			1					
	臨床心理学	2前	2			1					
	パーソナリティ心理学	2前	2							1	
	健康心理学	2後	2			1					
小計 (13科目)	—	0	26	0	3	0	0	0	0	兼1	
教育者としての専門性	道徳教育の理論と方法 [小]	2前	2			1					
	道徳教育の理論と方法 [中]	2前	2			1					
	特別活動の理論と方法 [小]	2後	2							1	
	特別活動の理論と方法 [中・高]	2後	2							1	
	生徒指導論 [小]	2前	2							1	
	生徒指導論 [中・高]	2前	2							1	
	学級経営論 [小]	2後	1							1	
	学級経営論 [中・高]	2後	1		1						
	進路指導論 [小]	2後	1							1	
	進路指導論 [中・高]	2後	1							1	
	教育相談 [小]	3前	2			1					
	教育相談 [中・高]	3後	2			1					
	教育における調査と統計	3後	2			1					
	国際バカロレア教育研究	3後	2							1	
	ICTを活用した授業実践研究A	2前	2							1	
	ICTを活用した授業実践研究B	2後	2							1	
	青少年と情報メディア	3後	2							1	
小計 (17科目)	—	0	30	0	2	1	0	0	0	兼7	
児童教育の専門科目	国語科教育研究 (書写を含む)	1前	2			1					
	社会科教育研究	1前	2			1					
	算数科教育研究Ⅰ	1前	2			1					
	算数科教育研究Ⅱ	1後	2			1					
	理科教育研究Ⅰ	2前	2				1				
	理科教育研究Ⅱ	2後	2				1				
	生活科教育研究	1前	2				1				
	音楽科教育研究Ⅰ	1前	2				1				
	音楽科教育研究Ⅱ	1後	2				1				
	図画工作科教育研究Ⅰ	1前	2							1	
	図画工作科教育研究Ⅱ	1後	2							1	
	家庭科教育研究	2後	2							1	
	体育科教育研究Ⅰ	1前	2					1			
	体育科教育研究Ⅱ	1後	2					1			
	外国語活動研究	2前	2							1	
小計 (15科目)	—	0	30	0	3	3	2	0	0	兼3	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2					
	ゼミナールⅡ	2通	2			3	2					
	ゼミナールⅢ	3通	4			8	2	2				
	ゼミナールⅣ	4通	4			8	2	2				
	小計(4科目)	—	12	0	0	10	4	2	0	0	0	兼0
合計(173科目)		—	26	296	0	12	5	3	0	0	0	兼39
卒業要件及び履修方法												
<p><初等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論[小]』『教職論[小]』『教育行政学[小]』『教育課程論[小]』『教育方法論[小]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程[小]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法[小]』『特別活動の理論と方法[小]』『生徒指導論[小]』『学級経営論[小]』『進路指導論[小]』『教育相談[小]』の6科目10単位修得。 ⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究(書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究Ⅰ』『理科教育研究Ⅰ』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。 ⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法(国語)』『初等教育教育法(社会)』『初等教育教育法(算数)』『初等教育教育法(理科)』『初等教育教育法(生活)』『初等教育教育法(音楽)』『初等教育教育法(図画工作)』『初等教育教育法(家庭)』『初等教育教育法(体育)』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[小]』の10科目20単位修得。</p> <p><中等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論[中・高]』『教職論[中・高]』『教育行政学[中・高]』『教育課程論[中・高]』『教育方法論[中・高]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程[中・高]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法[中]』『特別活動の理論と方法[中・高]』『生徒指導論[中・高]』『学級経営論[中・高]』『進路指導論[中・高]』『教育相談[中・高]』の6科目10単位修得。 ⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文化』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。 国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文章法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文学Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。 ⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]』の3科目6単位修得。 国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]』の3科目6単位修得。</p> <p>(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))</p>												

【令和元年度】※平成29～30年度入学者

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2					
	ゼミナールⅡ	2通	2			3	2					
	ゼミナールⅢ	3通	4			8	2	2				
	ゼミナールⅣ	4通	4			8	2	2				
	小計(4科目)	—	12	0	0	10	4	2	0	0	0	兼0
合計(173科目)		—	26	296	0	12	5	3	0	0	0	兼43
卒業要件及び履修方法												
<p><初等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論[小]』『教職論[小]』『教育行政学[小]』『教育課程論[小]』『教育方法論[小]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程[小]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法[小]』『特別活動の理論と方法[小]』『生徒指導論[小]』『学級経営論[小]』『進路指導論[小]』『教育相談[小]』の6科目10単位修得。 ⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究(書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究Ⅰ』『理科教育研究Ⅰ』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。 ⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法(国語)』『初等教育教育法(社会)』『初等教育教育法(算数)』『初等教育教育法(理科)』『初等教育教育法(生活)』『初等教育教育法(音楽)』『初等教育教育法(図画工作)』『初等教育教育法(家庭)』『初等教育教育法(体育)』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[小]』の10科目20単位修得。</p> <p><中等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論[中・高]』『教職論[中・高]』『教育行政学[中・高]』『教育課程論[中・高]』『教育方法論[中・高]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程[中・高]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法[中]』『特別活動の理論と方法[中・高]』『生徒指導論[中・高]』『学級経営論[中・高]』『進路指導論[中・高]』『教育相談[中・高]』の6科目10単位修得。 ⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文化』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。 国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文章法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文学Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。 ⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]』の3科目6単位修得。 国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]』の3科目6単位修得。</p> <p>(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))</p>												

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	自習	教授	准教授	講師	助教		助手	
英語	英語 A I	1 前	1				1					3	
	英語 A II	1 後	1					1				3	
	英語 B I	1 前	1					1				3	
	英語 B II	1 後	1					1				3	
	英語 C I	1 前	1					1				3	
	英語 C II	1 後	1					1				3	
	英語 D I	1 前	1					1				3	
	英語 D II	1 後	1					1				3	
	英語 E I	2 前	1					1				3	
	英語 E II	2 後	1					1				3	
	英語 F I	2-3-4 前	1					1					
	英語 F II	2-3-4 後	1					1					
	英語 G I	2-3-4 前	1					1					
	英語 G II	2-3-4 後	1					1					
	小計 (14科目)	—		10	4	0	0	0	0	1	0	0	兼5
	論理的思考／表現的思考	論理的思考法	1 前	2									1
		論理的表現法	1 後	2									1
		プレゼンテーション A (日本語)	1 後	2									1
プレゼンテーション B (English)		2-3-4 前	2									1	
小計 (4科目)		—		0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼2
人文科学	哲学	1-2-3-4 前	2									1	
	倫理学	1-2-3-4 前	2									1	
	宗教学	1-2-3-4 後	2									1	
	心理学概論	1-2-3-4 前	2			1						1	
	芸術学	1-2-3-4 前	2									1	
	日本文学史	1-2-3-4 前	2			1						1	
	史学概論	1-2-3-4 前	2									1	
	小計 (7科目)	—		0	14	0	2	0	0	0	0	0	兼3
	社会科学	憲法	1-2 前	2									1
法学		1-2-3-4 後	2									1	
政治学		1-2-3-4 前	2									1	
経済学		1-2-3-4 前	2									1	
経営学		1-2-3-4 後	2									1	
社会学		1-2-3-4 後	2									1	
小計 (6科目)		—		0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼5
自然科学	生物学	1-2-3-4 後	2									1	
	人間工学	1-2-3-4 後	2									1	
	物理学	1-2-3-4 前	2									1	
	地球科学	1-2-3-4 後	2									1	
	数学	1-2-3-4 前	2			1						1	
	小計 (5科目)	—		0	10	0	1	0	0	0	0	0	兼2
外国語	ドイツ語 I	1-2 前	1									1	
	ドイツ語 II	1-2 後	1									1	
	フランス語 I	1-2 前	1		1								
	フランス語 II	1-2 後	1		1								
	中国語 I	1-2 前	1			1							
	中国語 II	1-2 後	1			1							
	小計 (6科目)	—		0	6	0	1	1	0	0	0	0	兼1
総合	グローバル社会を生きる	1 前	2									2	
スポーツ健康	スポーツ実技 I	1 前	1			1							
	スポーツ実技 II	1 後	1			1							
	健康づくり運動論	2-3-4 前	2			1							
	小計 (3科目)	—		0	4	0	0	1	0	0	0	0	兼0
情報	情報機器の操作 I	1 前	2									2	
	情報機器の操作 II	1 後	2									2	
	情報処理概論	1 前	2									1	
	小計 (3科目)	—		2	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2

【令和元年度】※令和元年度入学者 (教職再課程認定による授業科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	自習	教授	准教授	講師	助教		助手	
英語	英語 A I	1 前	1				1					3	
	英語 A II	1 後	1					1				3	
	英語 B I	1 前	1					1				3	
	英語 B II	1 後	1					1				3	
	英語 C I	1 前	1					1				3	
	英語 C II	1 後	1					1				3	
	英語 D I	1 前	1					1				3	
	英語 D II	1 後	1					1				3	
	英語 E I	2 前	1					1				3	
	英語 E II	2 後	1					1				3	
	英語 F I	2-3-4 前	1					1					
	英語 F II	2-3-4 後	1					1					
	英語 G I	2-3-4 前	1					1				1	
	英語 G II	2-3-4 後	1					1				1	
	小計 (14科目)	—		10	4	0	0	0	0	1	0	0	兼8
	論理的思考／表現的思考	論理的思考法	1 前	2									1
		論理的表現法	1 後	2									1
		プレゼンテーション A (日本語)	1 後	2									1
プレゼンテーション B (English)		2-3-4 前	2									1	
小計 (4科目)		—		0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼2
人文科学	哲学	1-2-3-4 前	2									2	
	倫理学	1-2-3-4 前	2									2	
	宗教学	1-2-3-4 後	2									1	
	心理学概論	1-2-3-4 前	2			1						1	
	芸術学	1-2-3-4 前	2									1	
	日本文学史	1-2-3-4 前	2			1						1	
	史学概論	1-2-3-4 前	2									1	
	小計 (7科目)	—		0	14	0	2	0	0	0	0	0	兼4
	社会科学	憲法	1-2 前	2									2
法学		1-2-3-4 後	2									1	
政治学		1-2-3-4 前	2									1	
経済学		1-2-3-4 前	2									1	
経営学		1-2-3-4 後	2									1	
社会学		1-2-3-4 後	2									2	
小計 (6科目)		—		0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼6
自然科学	生物学	1-2-3-4 後	2									1	
	人間工学	1-2-3-4 後	2									1	
	物理学	1-2-3-4 前	2									1	
	地球科学	1-2-3-4 後	2									1	
	数学	1-2-3-4 前	2			1						1	
	小計 (5科目)	—		0	10	0	1	0	0	0	0	0	兼4
外国語	ドイツ語 I	1-2 前	1									1	
	ドイツ語 II	1-2 後	1									1	
	フランス語 I	1-2 前	1		1								
	フランス語 II	1-2 後	1		1								
	中国語 I	1-2 前	1			1							
	中国語 II	1-2 後	1			1							
	小計 (6科目)	—		0	6	0	1	1	0	0	0	0	兼1
総合	グローバル社会を生きる	1 前	2									2	
スポーツ健康	スポーツ実技 I	1 前	1			1							
	スポーツ実技 II	1 後	1			1							
	健康づくり運動論	2-3-4 前	2			1							
	小計 (3科目)	—		0	4	0	0	1	0	0	0	0	兼0
情報	情報機器の操作 I	1 前	2									2	
	情報機器の操作 II	1 後	2									2	
	情報処理概論	1 後	2									1	
	小計 (3科目)	—		2	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教育の基礎	教育学概論【小】	1前	2			1							
	教育学概論【中・高】	1前	2			1							
	教職論【小】	1前	2			1							
	教職論【中・高】	1前	2			1							
	教育行政学【小】	1後	2			1							
	教育行政学【中・高】	1後	2			1							
	教育課程論【小】	1後	2								1		
	教育課程論【中・高】	1後	2								1		
	教育方法論【小】	2前	2								1		
	教育方法論【中・高】	2前	2								1		
	教育法規【小】	2前	2			1							
	教育法規【中・高】	2前	2			1							
	教育時事問題	3前	2				1						
	青少年と国際教育	3前	2								1		
	小計(14科目)	—	0	28	0	1	1	0	0	0	0	兼2	
	教育を支える心理学	心身の発達と学習過程【小】	1後	2			1						
		心身の発達と学習過程【中・高】	1後	2			1						
教育心理学		1後	2			1							
発達心理学		1後	2			1							
青年心理学		1前	2			1							
社会心理学		1後	2			1							
学校心理学		2前	2			1							
発達支援論		2前	2			1							
障がい児・者の心理学		2前	2			1							
家族心理学		2後	2			1							
臨床心理学		2前	2			1							
パーソナリティ心理学		2前	2								1		
健康心理学		2後	2			1							
小計(13科目)	—	0	26	0	3	0	0	0	0	0	兼1		
教育者としての専門性	道徳教育の理論と方法【小】	2前	2			1							
	道徳教育の理論と方法【中】	2前	2			1							
	特別活動の理論と方法【小】	2後	2								1		
	特別活動の理論と方法【中・高】	2後	2								1		
	生徒指導論【小】	2前	2								1		
	生徒指導論【中・高】	2前	2								1		
	学級経営論【小】	2後	1								1		
	学級経営論【中・高】	2後	1			1							
	進路指導論【小】	2後	1								1		
	進路指導論【中・高】	2後	1								1		
	教育相談【小】	3前	2			1							
	教育相談【中・高】	3後	2			1							
	教育における調査と統計	3後	2			1							
	国際バカロレア教育研究	3後	2								1		
	ICTを活用した授業実践研究A	2前	2								1		
	ICTを活用した授業実践研究B	2後	2								1		
	青少年と情報メディア	3後	2								1		
小計(17科目)	—	0	30	0	2	1	0	0	0	0	兼7		

【令和元年度】※令和元年度入学者(教職再課程認定による授業科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教育の基礎	教育学概論【小】	1前	2			1							
	教育学概論【中・高】	1前	2			1							
	教職論【小】	1前	2			1							
	教職論【中・高】	1前	2			1							
	教育行政学【小】	1後	2			1							
	教育行政学【中・高】	1後	2			1							
	教育課程論【小】	1後	2								1		
	教育課程論【中・高】	1後	2								1		
	教育方法論【小】	2前	2								1		
	教育方法論【中・高】	2前	2								1		
	特別な教育的ニーズの理解とその支援【小】	3前	2				1						
	特別な教育的ニーズの理解とその支援【中・高】	3前	2				1						
	教育時事問題	3前	2					1					
	青少年と国際教育	3前	2								1		
	小計(12科目)	—	0	24	0	2	1	1	0	0	0	兼1	
	教育を支える心理学	心身の発達と学習過程【小】	1後	2			1						
		心身の発達と学習過程【中・高】	1後	2			1						
教育心理学		1後	2			1							
発達心理学		1後	2			1							
青年心理学		1前	2			1							
社会心理学		1後	2			1							
学校心理学		2前	2			1							
発達支援論		2前	2			1							
障がい児・者の心理学		2前	2			1							
家族心理学		2後	2			1							
臨床心理学		2前	2			1							
パーソナリティ心理学		2前	2								1		
健康心理学		2後	2			1							
小計(13科目)	—	0	26	0	3	0	0	0	0	0	兼1		
教育者としての専門性	道徳教育の理論と方法【小】	2前	2			1							
	道徳教育の理論と方法【中】	2前	2			1							
	総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)【小】	2後	2			1		1					
	総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)【中・高】	2後	2			1		1					
	特別活動の理論と方法【小】	2後	2								1		
	特別活動の理論と方法【中・高】	2後	2								1		
	生徒指導論(教育課程論を含む)【小】	2前	2			1					1		
	生徒指導論(教育課程論を含む)【中・高】	2前	2			1					1		
	教育相談と進路指導【小】	3後	2			2							
	教育相談と進路指導【中・高】	3後	2			2							
	教育における調査と統計	3後	2			1							
	国際バカロレア教育研究	3後	2								1		
	ICTを活用した授業実践研究A	2前	2								1		
	ICTを活用した授業実践研究B	2後	2								1		
	青少年と情報メディア	3後	2								1		
小計(15科目)	—	0	30	0	4	1	1	0	0	0	兼5		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
児童教育の専門科目	国語科教育研究（書写を含む）	1 前	2			1						
	社会科教育研究	1 前	2			1						
	算数科教育研究 I	1 前	2			1						
	算数科教育研究 II	1 後	2			1						
	理科教育研究 I	2 前	2					1				
	理科教育研究 II	2 後	2					1				
	生活科教育研究	1 前	2					1				
	音楽科教育研究 I	1 前	2			1						
	音楽科教育研究 II	1 後	2			1						
	図画工作科教育研究 I	1 前	2								1	
	図画工作科教育研究 II	1 後	2								1	
	家庭科教育研究	2 後	2								1	
	体育科教育研究 I	1 前	2			1						
	体育科教育研究 II	1 後	2			1						
	外国語活動研究	2 前	2								1	
小計（15科目）	—	0	30	0	3	2	2	0	0	0	兼3	
英語教育の専門科目	英語学概論	1 後	2									1
	英文法	2 前	2									1
	イギリスの文学 A	1 前	2		1							
	イギリスの文学 B	1 後	2		1							
	アメリカの文学 A	1 前	2								1	
	アメリカの文学 B	1 後	2								1	
	英語コミュニケーション A	2 前	2				1					
	英語コミュニケーション B	2 後	2									1
	総合英語 I	2 前	2		1							
	総合英語 II	2 後	2		1							
	ヨーロッパの生活と文化 A	1 前	2		1							
	ヨーロッパの生活と文化 B	1 前	2									1
	イギリスの生活と文化	1 後	2		1							
	アメリカの生活と文化	1 前	2									1
	小計（14科目）	—	0	28	0	2	0	1	0	0	0	兼4
国語教育の専門科目	国語学概論	1 後	2		1							
	日本語の表現	2 前	2		1							
	日本語文章法	2 後	2		1							
	日本語のレトリック	2 前	2		1							
	国文学史 A	1 前	2		1							
	国文学史 B	1 後	2		1							
	日本の古典文学 A	2 前	2		1							
	日本の古典文学 B	2 後	2		1							
	日本の近代文学 A	2 前	2		1							
	日本の近代文学 B	2 後	2		1							
	中国の文学	2 前	2			1						
	漢文学 I	2 前	2			1						
	漢文学 II	2 後	2			1						
	書道	1 後	2		1							
小計（14科目）	—	0	28	0	2	1	0	0	0	0	兼0	

【令和元年度】※令和元年度入学者（教職再課程認定による授業科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
児童教育の専門科目	国語科教育研究（書写を含む）	1 前	2			1						
	社会科教育研究	1 前	2			1						
	算数科教育研究	1 前	2			1						
	理科教育研究	2 前	2					1				
	生活科教育研究	1 前	2					1				
	音楽科教育研究	1 前	2			1						
	図画工作科教育研究	1 前	2									1
	家庭科教育研究	2 後	2									1
	体育科教育研究	1 前	2					1				
	英語科教育研究	2 前	2					1				
	教科教育研究 A	2 前	1			2	1	2				
	教科教育研究 B	2 後	1			1	1	2				2
小計（12科目）	—	0	22	0	3	2	2	0	0	0	兼2	
英語教育の専門科目	英語学概論	1 後	2									1
	英文法	2 後	2									1
	英語文学 A	1 前	2		1							
	英語文学 B	1 後	2									1
	イギリスの文学	1 前	2		1							
	アメリカの文学	1 前	2									1
	Reading A	2 前	1									1
	Reading B	2 後	1									1
	Writing A	2 前	1									1
	Writing B	2 後	1									1
	Listening A	2 前	1					1				
	Listening B	2 後	1					1				
	Speaking A	2 前	1					1				
	Speaking B	2 後	1					1				
	異文化の理解に向けて	1 前	2		1							
	英語圏の国々の歴史と文化	1 後	2		1							
	ヨーロッパの生活と文化 A	1 前	2		1							
	ヨーロッパの生活と文化 B	1 後	2									1
	イギリスの生活と文化	1 後	2		1							
	アメリカの生活と文化	1 前	2									1
小計（20科目）	—	0	32	0	2	0	1	0	0	0	兼4	
国語教育の専門科目	国語学概論	1 後	2		1							
	日本語の表現	2 前	2		1							
	日本語文章法	2 後	2		1							
	日本語のレトリック	2 前	2		1							
	国文学史 A	1 前	2		1							
	国文学史 B	1 後	2		1							
	日本の古典文学 A	2 前	2		1							
	日本の古典文学 B	2 後	2		1							
	日本の近代文学 A	2 前	2		1							
	日本の近代文学 B	2 後	2		1							
	中国の文学	2 前	2			1						
	漢文学 I	2 前	2			1						
	漢文学 II	2 後	2			1						
	書道	1 後	2		1							
小計（14科目）	—	0	28	0	2	1	0	0	0	0	兼0	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	小学校	初等教育教育法（国語）	2・3前	2			1						
		初等教育教育法（社会）	2・3後	2			1						
		初等教育教育法（算数）	2・3後	2			1						
		初等教育教育法（理科）	2・3後	2				1					
		初等教育教育法（生活）	2・3前	2					1				
		初等教育教育法（音楽）	2・3後	2			1						
		初等教育教育法（図画工作）	2・3前	2								1	
		初等教育教育法（家庭）	2・3後	2								1	
		初等教育教育法（体育）	2・3後	2			1						
		初等教育教育法（外国語活動）	2・3後	2									1
		教職研究Ⅰ（教職実務Ⅰ）【小】	2前	2			1		1				
		教職研究Ⅱ（教職実務Ⅱ）【小】	2後	2			1		1				
		教育実習Ⅰ【小】	4通	2			2	2	2				
		教育実習Ⅱ【小】	4通	2			2	2	2				
		教育実習事前事後指導【小】	4通	1			2	2	2				
		教職実践演習【小】	4後	2			2						
	小計（16科目）	—	0	31	0	5	3	2	0	0		兼3	
	中学校・高等学校	英語科教育法Ⅰ	2前	2									1
		英語科教育法Ⅱ	2後	2									1
		英語科教育法Ⅲ	3前	2									1
		英語科教育法Ⅳ	3後	2									1
		国語科教育法Ⅰ	2前	2									1
		国語科教育法Ⅱ	2後	2									1
		国語科教育法Ⅲ	3前	2									1
		国語科教育法Ⅳ	3後	2									1
		教職研究Ⅰ（教職実務Ⅰ）【中・高】	2前	2			1	1					
		教職研究Ⅱ（教職実務Ⅱ）【中・高】	2後	2			1	1					
		教育実習Ⅰ【中・高】	4通	2			3						
		教育実習Ⅱ【中】	4通	2			3						
		教育実習事前事後指導【中・高】	4通	1			3						
		教職実践演習【中・高】	4後	2			2						
	小計（14科目）	—	0	27	0	4	1	0	0	0		兼2	
	共通	教職研究Ⅲ（学校教育の今日的課題Ⅰ）	3前		2		1						
教職研究Ⅳ（学校教育の今日的課題Ⅱ）		3後		2							1		
教職研究Ⅴ（学校教育の今日的課題Ⅲ）		4前		2							1		
小計（3科目）	—	0	6	0	1	0	0	0	0		兼2		
ゼミナール	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2						
	ゼミナールⅡ	2通	2			3	2						
	ゼミナールⅢ	3通	4			8	2	2					
	ゼミナールⅣ	4通	4			8	2	2					
	小計（4科目）	—	12	0	0	10	4	2	0	0		兼0	
合計（173科目）	—	26	296	0	12	5	3	0	0		兼39		

【令和元年度】※令和元年度入学者（教職再課程認定による授業科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	小学校	初等 教科 教育法（国語）	2・3前	2			1						
		初等 教科 教育法（社会）	2・3後	2			1						
		初等 教科 教育法（算数）	2・3後	2			1						
		初等 教科 教育法（理科）	2・3後	2				1					
		初等 教科 教育法（生活）	2・3前	2					1				
		初等 教科 教育法（音楽）	2・3後	2			1						
		初等 教科 教育法（図画工作）	2・3前	2									1
		初等 教科 教育法（家庭）	2・3後	2									1
		初等 教科 教育法（体育）	2・3後	2						1			
		初等 教科 教育法（英語）	2・3後	2							1		
		教育実習Ⅰ【小】	4通	2			2	2	2				
		教育実習Ⅱ【小】	4通	2			2	2	2				
		教育実習事前事後指導【小】	4通	1			2	2	2				
		教職実践演習【小】	4後	2			2			2	1		
	小計（14科目）	—	0	27	0	5	4	2	0	0		兼2	
	中学校・高等学校	英語科教育法Ⅰ	2前	2							1		
		英語科教育法Ⅱ	2後	2							1		
		英語科教育法Ⅲ	3前	2							1		
		英語科教育法Ⅳ	3後	2							1		
		国語科教育法Ⅰ	2前	2							1	2	
		国語科教育法Ⅱ	2後	2							1	2	
		国語科教育法Ⅲ	3前	2							1	2	
		国語科教育法Ⅳ	3後	2							1	2	
教育実習Ⅰ【中・高】		4通	2			3							
教育実習Ⅱ【中】	4通	2			3								
教育実習事前事後指導【中・高】	4通	1			3								
教職実践演習【中・高】	4後	2			2				1				
小計（12科目）	—	0	23	0	7	3	0	0	0		兼0		
ゼミナール	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2						
	ゼミナールⅡ	2通	2			3	2						
	ゼミナールⅢ	3通	4			7	2	2					
	ゼミナールⅣ	4通	4			7	2	2					
	小計（4科目）	—	12	0	0	9	4	2	0	0		兼0	
合計（165科目）	—	26	274	0	11	5	3	0	0		兼35		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必	選	自	教	准	講	助	助	
卒業要件及び履修方法											
<p><初等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から「教育学概論【小】」「教職論【小】」「教育行政学【小】」「教育課程論【小】」「教育方法論【小】」の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から「心身の発達と学習過程【小】」2単位及び「教育心理学」「発達心理学」「学校心理学」「発達支援論」「障がい児・者の心理学」の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から「道徳教育の理論と方法【小】」「特別活動の理論と方法【小】」「生徒指導論【小】」「学級経営論【小】」「進路指導論【小】」「教育相談【小】」の6科目10単位修得。 ⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から「国語科教育研究（書写を含む）」「社会科教育研究」「算数科教育研究」「理科教育研究」の4科目8単位及び「生活科教育研究」「音楽科教育研究Ⅰ」「音楽科教育研究Ⅱ」「図画工作科教育研究Ⅰ」「図画工作科教育研究Ⅱ」「家庭科教育研究」「体育科教育研究Ⅰ」「体育科教育研究Ⅱ」の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上（ただし、「音楽科教育研究Ⅰ」「音楽科教育研究Ⅱ」「図画工作科教育研究Ⅰ」「図画工作科教育研究Ⅱ」「体育科教育研究Ⅰ」「体育科教育研究Ⅱ」から2教科2科目4単位以上含む）修得。 ⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から「初等教育教育法（国語）」「初等教育教育法（社会）」「初等教育教育法（算数）」「初等教育教育法（理科）」「初等教育教育法（生活）」「初等教育教育法（音楽）」「初等教育教育法（図画工作）」「初等教育教育法（家庭）」「初等教育教育法（体育）」「教職研究Ⅰ（教職実務Ⅰ）【小】」の10科目20単位修得。</p> <p><中等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から「教育学概論【中・高】」「教職論【中・高】」「教育行政学【中・高】」「教育課程論【中・高】」「教育方法論【中・高】」の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から「心身の発達と学習過程【中・高】」2単位及び「教育心理学」「発達心理学」「学校心理学」「発達支援論」「障がい児・者の心理学」の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から「道徳教育の理論と方法【中】」「特別活動の理論と方法【中・高】」「生徒指導論【中・高】」「学級経営論【中・高】」「進路指導論【中・高】」「教育相談【中・高】」の6科目10単位修得。 ⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から「英語学概論」「英文化」「イギリスの文学A」「アメリカの文学A」「英語コミュニケーションA」「総合英語Ⅰ」「ヨーロッパの生活と文化A」の7科目14単位及びその他6単位以上修得。 国語コースの場合は、「国語教育の専門科目」から「国語学概論」「日本語の表現」「日本語文法」「日本の古典文学A」「日本の近代文学A」「漢文学Ⅰ」「書道」の7科目14単位、「国文学史A」又は「国文学史B」のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。 ⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「教職研究Ⅰ（教職実務Ⅰ）【中・高】」の3科目6単位修得。 国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から「国語科教育法Ⅰ」「国語科教育法Ⅱ」「教職研究Ⅰ（教職実務Ⅰ）【中・高】」の3科目6単位修得。</p> <p>（履修科目の登録の上限：1～4年次45単位（年間））</p>											

【令和元年度】※令和元年度入学者（教職再課程認定による授業科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必	選	自	教	准	講	助	助	
卒業要件及び履修方法											
<p><初等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から「教育学概論【小】」「教職論【小】」「教育行政学【小】」「教育方法論【小】」「特別な教育的ニーズの理解とその支援【小】」の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から「心身の発達と学習過程【小】」の2単位修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から「道徳教育の理論と方法【小】」「総合的な学習の時間の指導法（教育課程論を含む）【小】」「特別活動の理論と方法【小】」「生徒指導論（教育課程論を含む）【小】」「教育相談と進路指導【小】」の5科目10単位修得。 ⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から「国語科教育研究（書写を含む）」「社会科教育研究」「算数科教育研究」「理科教育研究」「生活科教育研究」「音楽科教育研究」「図画工作科教育研究」「家庭科教育研究」「体育科教育研究」「英語科教育研究」「教科教育研究A」「教科教育研究B」の12科目22単位修得。 ⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から「初等教育教育法（国語）」「初等教育教育法（社会）」「初等教育教育法（算数）」「初等教育教育法（理科）」「初等教育教育法（生活）」「初等教育教育法（音楽）」「初等教育教育法（図画工作）」「初等教育教育法（家庭）」「初等教育教育法（体育）」「初等教育教育法（英語）」の10科目20単位修得。</p> <p><中等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から「教育学概論【中・高】」「教職論【中・高】」「教育行政学【中・高】」「教育方法論【中・高】」「特別な教育的ニーズの理解とその支援【中・高】」の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から「心身の発達と学習過程【中・高】」の2単位修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から「道徳教育の理論と方法【中】」「生徒指導論（教育課程論を含む）【中・高】」「教育相談と進路指導【中・高】」の5科目10単位修得。 ⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から「英語学概論」「英文化」「英語文学A」「英語文学B」「Reading A」「Reading B」「Writing A」「Writing B」「Listening A」「Listening B」「Speaking A」「Speaking B」「異文化の理解に向けて」「英語圏の国々の歴史と文化」の14科目20単位修得。 国語コースの場合は、「国語教育の専門科目」から「国語学概論」「日本語の表現」「日本語文法」「国文学史A」「国文学史B」「日本の古典文学A」「日本の近代文学A」「漢文学Ⅰ」「漢文学Ⅱ」「書道」の11科目22単位修得。 ⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅲ」「英語科教育法Ⅳ」の4科目8単位修得。 国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から「国語科教育法Ⅰ」「国語科教育法Ⅱ」「国語科教育法Ⅲ」「国語科教育法Ⅳ」の4科目8単位修得。 ⑦ 英語コースの場合は、「イギリスの文学」「アメリカの文学」「イギリスの生活と文化」「アメリカの生活と文化」「ヨーロッパの生活と文化A」「ヨーロッパの生活と文化B」「教育時事問題」「青少年と国際教育」「教育における調査と統計」「国際バカロレア教育研究」「ICTを活用した授業実践研究A」「ICTを活用した授業実践研究B」「青少年と情報メディア」の13科目の中から6単位以上修得。 国語コースの場合は、「日本語のレトリック」「日本の古典文学B」「日本の近代文学B」「教育時事問題」「青少年と国際教育」「教育における調査と統計」「国際バカロレア教育研究」「ICTを活用した授業実践研究A」「ICTを活用した授業実践研究B」「青少年と情報メディア」の10科目の中から6単位以上修得。</p> <p>（履修科目の登録の上限：1～4年次45単位（年間））</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成29年度】

Table for Heisei 29 academic year, showing subject categories, course names, and staff assignments. It includes sections for English Education, Japanese Language Education, and Education (Primary, Middle/High School).

【平成30年度】

Table for Heisei 30 academic year, showing subject categories, course names, and staff assignments. It includes sections for English Education, Japanese Language Education, and Education (Primary, Middle/High School).

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手		
専門科目	共通	教職研究Ⅲ(学校教育の今日的課題Ⅰ)	3前	2		1						
		教職研究Ⅳ(学校教育の今日的課題Ⅱ)	3後	2							1	
		教職研究Ⅴ(学校教育の今日的課題Ⅲ)	4前	2							1	
	小計(3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0	0	兼2
	ゼミナール	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2				
ゼミナールⅡ		2通	2			3	2					
ゼミナールⅢ		3通	4			8	2	2				
ゼミナールⅣ		4通	4			8	2	2				
小計(4科目)		—	12	0	0	10	4	2	0	0	0	兼0
合計(173科目)			—	26	296	0	12	5	3	0	0	兼41

卒業要件及び履修方法

<初等教育専攻>
必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。
① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。
② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論【小】』『教職論【小】』『教育行政学【小】』『教育課程論【小】』『教育方法論【小】』の5科目10単位修得。
③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程【小】』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。
④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法【小】』『特別活動の理論と方法【小】』『生徒指導論【小】』『学級経営論【小】』『進路指導論【小】』『教育相談【小】』の6科目10単位修得。
⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究(書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究』『理科教育研究』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。
⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法(国語)』『初等教育教育法(社会)』『初等教育教育法(算数)』『初等教育教育法(理科)』『初等教育教育法(生活)』『初等教育教育法(音楽)』『初等教育教育法(図画工作)』『初等教育教育法(家庭)』『初等教育教育法(体育)』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【小】』の10科目20単位修得。

<中等教育専攻>
必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。
① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。
② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論【中・高】』『教職論【中・高】』『教育行政学【中・高】』『教育課程論【中・高】』『教育方法論【中・高】』の5科目10単位修得。
③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程【中・高】』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。
④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法【中】』『特別活動の理論と方法【中・高】』『生徒指導論【中・高】』『学級経営論【中・高】』『進路指導論【中・高】』『教育相談【中・高】』の6科目10単位修得。
⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文化』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。
国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文章法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文学Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。
⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【中・高】』の3科目6単位修得。
国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【中・高】』の3科目6単位修得。

(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手		
専門科目	共通	教職研究Ⅲ(学校教育の今日的課題Ⅰ)	3前	2		1						
		教職研究Ⅳ(学校教育の今日的課題Ⅱ)	3後	2							1	
		教職研究Ⅴ(学校教育の今日的課題Ⅲ)	4前	2							1	
	小計(3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0	0	兼2
	ゼミナール	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2				
ゼミナールⅡ		2通	2			3	2					
ゼミナールⅢ		3通	4			8	2	2				
ゼミナールⅣ		4通	4			8	2	2				
小計(4科目)		—	12	0	0	10	4	2	0	0	0	兼0
合計(173科目)			—	26	296	0	12	5	3	0	0	兼41

卒業要件及び履修方法

<初等教育専攻>
必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。
① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。
② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論【小】』『教職論【小】』『教育行政学【小】』『教育課程論【小】』『教育方法論【小】』の5科目10単位修得。
③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程【小】』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。
④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法【小】』『特別活動の理論と方法【小】』『生徒指導論【小】』『学級経営論【小】』『進路指導論【小】』『教育相談【小】』の6科目10単位修得。
⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究(書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究』『理科教育研究』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。
⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法(国語)』『初等教育教育法(社会)』『初等教育教育法(算数)』『初等教育教育法(理科)』『初等教育教育法(生活)』『初等教育教育法(音楽)』『初等教育教育法(図画工作)』『初等教育教育法(家庭)』『初等教育教育法(体育)』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【小】』の10科目20単位修得。

<中等教育専攻>
必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。
① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。
② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論【中・高】』『教職論【中・高】』『教育行政学【中・高】』『教育課程論【中・高】』『教育方法論【中・高】』の5科目10単位修得。
③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程【中・高】』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。
④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法【中】』『特別活動の理論と方法【中・高】』『生徒指導論【中・高】』『学級経営論【中・高】』『進路指導論【中・高】』『教育相談【中・高】』の6科目10単位修得。
⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文化』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。
国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文章法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文学Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。
⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【中・高】』の3科目6単位修得。
国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【中・高】』の3科目6単位修得。

(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・ 履修希望者がいなかったために**未開講**となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
・ 1ページ目には**認可時又は届出時と報告年度2つの表**を記入してください。
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育効果を高めるため、「情報処理概論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「ヨーロッパの生活と文化B」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（国語）」から「初等教科教育法（国語）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（社会）」から「初等教科教育法（社会）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（算数）」から「初等教科教育法（算数）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（理科）」から「初等教科教育法（理科）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（生活）」から「初等教科教育法（生活）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（音楽）」から「初等教科教育法（音楽）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（図画工作）」から「初等教科教育法（図画工作）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（家庭）」から「初等教科教育法（家庭）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（体育）」から「初等教科教育法（体育）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（外国語活動）」から「初等教科教育法（外国語活動）」に変更。

【平成30年度】

- ・英語科目の担当教員変更に伴い、「英語FⅠ」「英語FⅡ」の兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・英語科目の担当教員変更に伴い、「英語GⅠ」「英語GⅡ」の兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「英文法」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。

【令和元年度】※平成29～30年度入学者

- ・英語科目の担当教員変更に伴い、「英語FⅠ」「英語FⅡ」の兼任・兼担の配置を「1」から「0」に変更。
- ・教育効果を高めるためのクラス分けにより、「哲学」「倫理学」「憲法」「社会学」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「体育科教育研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。

【令和元年度】※令和元年度入学者（教職再課程認定による授業科目）

- ・英語科目の担当教員変更に伴い、「英語FⅠ」「英語FⅡ」の兼任・兼担の配置を「1」から「0」に変更。
- ・教育効果を高めるためのクラス分けにより、「哲学」「倫理学」「憲法」「社会学」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教育方法論[小]」「教育方法論[中・高]」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「講師1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「特別な教育的ニーズの理解とその支援[小]」「特別な教育的ニーズの理解とその支援[中・高]」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)[小]」「総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)[中・高]」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「生徒指導論(教育課程論を含む)[小]」「生徒指導論(教育課程論を含む)[中・高]」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「教育相談と進路指導[小]」「教育相談と進路指導[中・高]」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「算数科教育研究Ⅰ」から「算数科教育研究」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「理科教育研究Ⅰ」から「理科教育研究」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「音楽科教育研究Ⅰ」から「音楽科教育研究」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「図画工作科教育研究Ⅰ」から「図画工作科教育研究」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「体育科教育研究Ⅰ」から「体育科教育研究」に変更。また、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「外国語活動研究」から「英語科教育研究」に変更。また、専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「教科教育研究A」「教科教育研究B」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「英語文学A」「英語文学B」「Reading A」「Reading B」「Writing A」「Writing B」「Listening A」「Listening B」「Speaking A」「Speaking B」「異文化の理解に向けて」「英語圏の国々の歴史と文化」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「イギリスの文学A」から「イギリスの文学」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「アメリカの文学A」から「アメリカの文学」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「初等教科教育法（体育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目名称を「初等教育教育法（外国語活動）」から「初等教科教育法（英語）」に変更。また、専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。

- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教職実践演習〔小〕」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅲ」「英語科教育法Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「国語科教育法Ⅰ」「国語科教育法Ⅱ」「国語科教育法Ⅲ」「国語科教育法Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」「准教授2」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教職実践演習〔中・高〕」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「ゼミナールⅢ」「ゼミナールⅣ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況【平成29～30年度入学者】				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
16 科目	157 科目	0 科目	173 科目	16 科目 [0]	157 科目 [0]	0 科目 [0]	173 科目 [0]	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）により、令和元年度入学者の教育課程を変更。
				変更状況【令和元年度入学者】				
				必修	選択	自由	計	
16 科目 [0]	149 科目 [Δ8]	0 科目 [0]	165 科目 [Δ8]	16 科目 [0]	149 科目 [Δ8]	0 科目 [0]	165 科目 [Δ8]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、〔 〕内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

【平成29～30年度入学者】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

【令和元年度入学者】※教職再課程認定による授業科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

【平成29～30年度入学者】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

【令和元年度入学者】※教職再課程認定による授業科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教育課程論 [小]	2	1	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
2	教育課程論 [中・高]	2	1	専門	選択	
3	生徒指導論 [小]	2	2	専門	選択	
4	生徒指導論 [中・高]	2	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更による科目の廃止。
5	教育法規 [小]	2	2	専門	選択	
6	教育法規 [中・高]	2	2	専門	選択	
7	学級経営論 [小]	1	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
8	学級経営論 [中・高]	1	2	専門	選択	
9	進路指導論 [小]	1	2	専門	選択	
10	進路指導論 [中・高]	1	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
11	教育相談 [小]	2	3	専門	選択	
12	教育相談 [中・高]	2	3	専門	選択	
13	算数科教育研究Ⅱ	2	1	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更による科目の廃止。
14	理科教育研究Ⅱ	2	2	専門	選択	
15	音楽科教育研究Ⅱ	2	1	専門	選択	
16	図画工作科教育研究Ⅱ	2	1	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
17	体育科教育研究Ⅱ	2	1	専門	選択	
18	イギリスの文学B	2	1	専門	選択	
19	アメリカの文学B	2	1	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更による科目の廃止。
20	英語コミュニケーションA	2	2	専門	選択	
21	英語コミュニケーションB	2	2	専門	選択	
22	総合英語Ⅰ	2	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
23	総合英語Ⅱ	2	2	専門	選択	

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
24	教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ) [小]	2	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正(再課程認定)に伴う教育課程の変更による科目の廃止。
25	教職研究Ⅱ(教職実務Ⅱ) [小]	2	2	専門	選択	
26	教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ) [中・高]	2	2	専門	選択	
27	教職研究Ⅱ(教職実務Ⅱ) [中・高]	2	2	専門	選択	
28	教職研究Ⅲ(学校教育の今日的課題Ⅰ)	2	3	専門	選択	
29	教職研究Ⅳ(学校教育の今日的課題Ⅱ)	2	3	専門	選択	
30	教職研究Ⅴ(学校教育の今日的課題Ⅲ)	2	4	専門	選択	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和元年度からの教育職員免許法及び施行規則の改正(再課程認定)に伴う教育課程の変更(廃止科目)については、経過措置として変更前の教育課程適用学生(平成29~30年度入学者)の履修状況等を考慮した上で、令和2年度以降の開講を決定する予定(令和元年度は対象科目全て開講)。
 なお、学生に対しては、毎年度4月の履修ガイダンス時に学年ごとに「履修に関する説明」を実施し、周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

【平成29~30年度入学者】

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{173} = \boxed{0}\%$$

【令和元年度入学者】※教職再課程認定による授業科目

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{30}{173} = \boxed{17.34}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設 置 時 (29年4月)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項 (29)退職等による後任補充にあたっては、教育・研究水準の維持に留意しつつ、教育組織の継続性を担保できるよう、専門領域、職位、年齢構成のバランスに配慮しながら公募を行うとともに、若手教員の昇任人事を視野に入れて研究活動を奨励していく。	履行中 留意事項として付された定年規程に定める退職年齢を超える教員7名については、任期満了後の専任教員欠員による採用計画において、高齢化を是正し、かつバランスのよい年齢構成の教員編成に配慮しながら完成年度となる平成32年度内に教員採用を行う予定である。
設置計画履行状況調査時 (30年2月)	・教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見 (30)退職等による後任補充にあたっては、引き続き教育・研究水準の維持に留意しつつ、教育組織の継続性を担保できるよう、専門領域、職位、年齢構成のバランスに配慮しながら公募を行うとともに、若手教員の昇任人事を視野に入れて研究活動を奨励していく。	履行中 改善意見のあった、定年規程に定める退職年齢を超える教員7名については、任期満了後の専任教員欠員による採用計画において、高齢化を是正し、かつバランスのよい年齢構成の教員編成に配慮しながら完成年度となる平成32年度内に教員採用を行う予定である。
設置計画履行状況調査時 (31年3月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 入学者選抜方法及び選抜体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦入試（指定校・公募）の選抜方法 書類審査と面接によって教育者としての適性と幅広い知識と学力を測る。 	<p>① 推薦入試（指定校・公募）の選抜方法について、公募推薦の場合のみ小論文を追加。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「FD推進センター」（委員5名：教育学部2名、国際教養学部3名）により、授業方法、内容等の改善に取り組み、大学としての教育力の向上を図っている。 ※「FD推進センター規則」添付 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD推進センター会議は、平成31年4月24日（水）に第1回が開催され、副学長と委員5名全員、及び担当事務員が列席した。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度のFD活動について（前年度の踏襲とその活性化への方策） ・学生参加型FDの試み ・FD研修について <p>② 実施状況（平成30年度実績）</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBによる授業アンケート ・紙媒体による授業アンケート ・授業の全面公開（教員相互の授業見学） ・授業実践報告会 ・外部講師を招いてのICT研修会 ・学生参加型FDの試み <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBによる授業アンケート 授業実施期間を通して、WEBによる授業アンケートを実施 ・紙媒体による授業アンケート 後期第14回 or 第15回の授業において実施 ・授業の全面公開（教員相互の授業見学） 専任・非常勤を問わず、すべての授業の随時見学が可能 ・授業実践報告会 全専任教員を5グループに分けて、年間5回実施
--

- ・外部講師を招いてのICT研修会
「ICT研修会：アクティブ・ラーニングの手法を通して」
 - ・学生参加型FDの試み
FD推進センター委員と学生FD委員がペアになったの授業見学
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・WEBによる授業アンケート
 - ・紙媒体による授業アンケート
 - ・授業の全面公開（教員相互の授業見学）
 - ・授業実践報告会
5月・6月・7月・11月・1月に実施（専任教員の平均参加率75%）
 - ・外部講師を招いてのICT研修会
10月に実施（専任教員の約90%が参加）
 - ・学生参加型FDの試み
2ペアが授業見学を実施
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・WEBによる授業アンケート、授業の全面公開（教員相互の授業見学）、授業実践報告会を踏まえ、授業づくりのための教員間の議論を促していく。
 - ・紙媒体による授業アンケートに関しては、結果を担当者に返し、それを受けての改善案を提出
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - ・授業実施期間を通して、WEBによる授業アンケートを実施
 - ・前期末と後期末に、紙媒体による授業アンケートを実施
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・WEBによるアンケート結果は、授業担当者、学長、学部長、FD推進センター長へ同時配信され、授業担当者は授業の中で受講生全員に回答
 - ・紙媒体によるアンケート結果は、集計結果をHPの「学内ポータル」にアップし、学生が閲覧できるようにした。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- 教育学部は、教育を通して社会に貢献する使命感を持ち、教育に対する深い理解と専門的な知識並びに実践的指導力を有し、新しい教育的な課題に対応できる教育者の養成を主たる目的としている。
- 平成29年度及び平成30年度は、授業科目の概要、教員組織については、設置の趣旨・目的に沿って、設置時の計画とおりに履行した。
- また、開設3年目となる今年度（令和元年度）においては、教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴い、今年度（令和元年度）入学者より教育課程の変更はあったが、設置の趣旨・目的に沿って、順調に開始している。
- 完成年度に向け、引き続き学生確保に努めていくと共に、学部の目的を達成するために設置計画を確実に実行に移していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和2年7月末日 公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和2年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受け、「適合」認定を得た。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年7月末日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

開智国際大学FD推進センター規則

(平成22年9月22日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、開智国際大学（以下、「本学」という。）において、ファカルティ・ディベロップメント（以下、「FD」という。）を推進するための実施体制等について定める。

(FDの定義)

第2条 FDとは、本学の教育理念並びに教育目標に基づき、教員の自主的・自律的な教育改善を推進する活動（教育研究の向上、促進を含む）とそれを支援するため、教職員が協働して組織的な研修及び研究をする活動をいう。

(業務)

第3条 FD推進センター（以下、「センター」という。）は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) FDに関する情報の収集及び提供
- (2) 授業アンケートの実施
- (3) 授業公開の実施
- (4) FD推進のための研究会等の実施
- (5) その他FD推進、実施に関すること

(センター長)

第4条 センターにセンター長1名を置く。

- 2 センター長はセンターの業務を統括し、センターを代表する。
- 3 センター長は本学専任教員の中から学長が指名する。
- 4 センター長の任期は2年とし、再任は妨げない。

(センター運営委員)

第5条 センターにセンター運営委員を若干名置く。

- 2 センター運営委員はセンター会議を構成し、センター長統括のもとセンターの運営にあたる。
- 3 センター運営委員は本学専任教員の中から学長が指名する。
- 4 センター運営委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(センター会議)

第6条 センターにセンター会議を置く。

- 2 センター会議は、センター長が召集し、その議長となる。
- 3 センター会議は、次の各号に掲げる審議を行う。
 - (1) 授業アンケートに関すること
 - (2) 授業公開に関すること
 - (3) FD推進のための研究会等に関すること
 - (4) その他FDに関すること

(センターの事務)

第7条 センターの事務は、総務会計課が処理する。

附 則

この規則は、平成22年9月22日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
英語	英語A I	1前	1					1			3
	英語A II	1後	1					1			3
	英語B I	1前	1					1			3
	英語B II	1後	1					1			3
	英語C I	1前	1					1			3
	英語C II	1後	1					1			3
	英語D I	1前	1					1			3
	英語D II	1後	1					1			3
	英語E I	2前	1					1			3
	英語E II	2後	1					1			3
	英語F I	2・3・4前	1					1			
	英語F II	2・3・4後	1					1			
	英語G I	2・3・4前	1					1			
	英語G II	2・3・4後	1					1			
小計(14科目)	—	—	10	4	0	0	0	1	0	0	兼5
論理的思考法 ／ 表現的思考	論理的思考法	1前	2								1
	論理的表現法	1後	2								1
	プレゼンテーションA (日本語)	1後	2								1
	プレゼンテーションB (English)	2・3・4前	2								1
	小計(4科目)	—	—	0	8	0	0	0	0	0	0
人文科学	哲学	1・2・3・4前	2								1
	倫理学	1・2・3・4前	2								1
	宗教学	1・2・3・4後	2								1
	心理学概論	1・2・3・4前	2			1					
	芸術学	1・2・3・4前	2								1
	日本文学史	1・2・3・4前	2			1					
	史学概論	1・2・3・4前	2								1
	小計(7科目)	—	—	0	14	0	2	0	0	0	0
社会科学	憲法	1・2前	2								1
	法学	1・2・3・4後	2								1
	政治学	1・2・3・4前	2								1
	経済学	1・2・3・4前	2								1
	経営学	1・2・3・4後	2								1
	社会学	1・2・3・4後	2								1
	小計(6科目)	—	—	0	12	0	0	0	0	0	0
自然科学	生物学	1・2・3・4後	2								1
	人間工学	1・2・3・4後	2								1
	物理学	1・2・3・4前	2								1
	地球科学	1・2・3・4後	2								1
	数学	1・2・3・4前	2			1					
	小計(5科目)	—	—	0	10	0	1	0	0	0	0
外国語	ドイツ語 I	1・2前	1								1
	ドイツ語 II	1・2後	1								1
	フランス語 I	1・2前	1			1					
	フランス語 II	1・2後	1			1					
	中国語 I	1・2前	1				1				
	中国語 II	1・2後	1				1				
小計(6科目)	—	—	0	6	0	1	1	0	0	0	兼1
総合	グローバル社会を生きる	1前	2								2
小計(1科目)	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
スポーツ健康	スポーツ実技 I	1前	1			1					
	スポーツ実技 II	1後	1			1					
	健康づくり運動論	2・3・4前	2			1					
	小計(3科目)	—	—	0	4	0	0	1	0	0	0
情報	情報機器の操作 I	1前	2								2
	情報機器の操作 II	1後	2								2
	情報処理概論	1前	2								1
	小計(3科目)	—	—	2	4	0	0	0	0	0	0

【令和元年度】※平成29～30年度入学者

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
英語	英語A I	1前	1								3
	英語A II	1後	1								3
	英語B I	1前	1								3
	英語B II	1後	1								3
	英語C I	1前	1								3
	英語C II	1後	1								3
	英語D I	1前	1								3
	英語D II	1後	1								3
	英語E I	2前	1								3
	英語E II	2後	1								3
	英語F I	2・3・4前	1								
	英語F II	2・3・4後	1								
	英語G I	2・3・4前	1								1
	英語G II	2・3・4後	1								1
小計(14科目)	—	—	10	4	0	0	0	1	0	0	兼8
論理的思考法 ／ 表現的思考	論理的思考法	1前	2								1
	論理的表現法	1後	2								1
	プレゼンテーションA (日本語)	1後	2								1
	プレゼンテーションB (English)	2・3・4前	2								1
	小計(4科目)	—	—	0	8	0	0	0	0	0	0
人文科学	哲学	1・2・3・4前	2								2
	倫理学	1・2・3・4前	2								2
	宗教学	1・2・3・4後	2								1
	心理学概論	1・2・3・4前	2			1					
	芸術学	1・2・3・4前	2								1
	日本文学史	1・2・3・4前	2			1					
	史学概論	1・2・3・4前	2								1
	小計(7科目)	—	—	0	14	0	2	0	0	0	0
社会科学	憲法	1・2前	2								2
	法学	1・2・3・4後	2								1
	政治学	1・2・3・4前	2								1
	経済学	1・2・3・4前	2								1
	経営学	1・2・3・4後	2								1
	社会学	1・2・3・4後	2								2
	小計(6科目)	—	—	0	12	0	0	0	0	0	0
自然科学	生物学	1・2・3・4後	2								1
	人間工学	1・2・3・4後	2								1
	物理学	1・2・3・4前	2								1
	地球科学	1・2・3・4後	2								1
	数学	1・2・3・4前	2			1					
	小計(5科目)	—	—	0	10	0	1	0	0	0	0
外国語	ドイツ語 I	1・2前	1								1
	ドイツ語 II	1・2後	1								1
	フランス語 I	1・2前	1			1					
	フランス語 II	1・2後	1			1					
	中国語 I	1・2前	1				1				
	中国語 II	1・2後	1				1				
小計(6科目)	—	—	0	6	0	1	1	0	0	0	兼1
総合	グローバル社会を生きる	1前	2								2
小計(1科目)	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
スポーツ健康	スポーツ実技 I	1前	1			1					
	スポーツ実技 II	1後	1			1					
	健康づくり運動論	2・3・4前	2			1					
	小計(3科目)	—	—	0	4	0	0	1	0	0	0
情報	情報機器の操作 I	1前	2								2
	情報機器の操作 II	1後	2								2
	情報処理概論	1後	2								1
	小計(3科目)	—	—	2	4	0	0	0	0	0	0

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2					
	ゼミナールⅡ	2通	2			3	2					
	ゼミナールⅢ	3通	4			8	2	2				
	ゼミナールⅣ	4通	4			8	2	2				
	小計(4科目)	—	12	0	0	10	4	2	0	0	0	兼0
合計(173科目)			—	26	296	0	12	5	3	0	0	兼39
卒業要件及び履修方法												
<p><初等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論[小]』『教職論[小]』『教育行政学[小]』『教育課程論[小]』『教育方法論[小]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程[小]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法[小]』『特別活動の理論と方法[小]』『生徒指導論[小]』『学級経営論[小]』『進路指導論[小]』『教育相談[小]』の6科目10単位修得。 ⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究(書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究Ⅰ』『理科教育研究Ⅰ』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。 ⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法(国語)』『初等教育教育法(社会)』『初等教育教育法(算数)』『初等教育教育法(理科)』『初等教育教育法(生活)』『初等教育教育法(音楽)』『初等教育教育法(図画工作)』『初等教育教育法(家庭)』『初等教育教育法(体育)』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[小]』の10科目20単位修得。</p> <p><中等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論[中・高]』『教職論[中・高]』『教育行政学[中・高]』『教育課程論[中・高]』『教育方法論[中・高]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程[中・高]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法[中]』『特別活動の理論と方法[中・高]』『生徒指導論[中・高]』『学級経営論[中・高]』『進路指導論[中・高]』『教育相談[中・高]』の6科目10単位修得。 ⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文化』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。 国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文章法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文学Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。 ⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]』の3科目6単位修得。 国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]』の3科目6単位修得。</p> <p>(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))</p>												

【令和元年度】※平成29～30年度入学者

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2					
	ゼミナールⅡ	2通	2			3	2					
	ゼミナールⅢ	3通	4			8	2	2				
	ゼミナールⅣ	4通	4			8	2	2				
	小計(4科目)	—	12	0	0	10	4	2	0	0	0	兼0
合計(173科目)			—	26	296	0	12	5	3	0	0	兼43
卒業要件及び履修方法												
<p><初等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論[小]』『教職論[小]』『教育行政学[小]』『教育課程論[小]』『教育方法論[小]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程[小]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法[小]』『特別活動の理論と方法[小]』『生徒指導論[小]』『学級経営論[小]』『進路指導論[小]』『教育相談[小]』の6科目10単位修得。 ⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究(書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究Ⅰ』『理科教育研究Ⅰ』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。 ⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法(国語)』『初等教育教育法(社会)』『初等教育教育法(算数)』『初等教育教育法(理科)』『初等教育教育法(生活)』『初等教育教育法(音楽)』『初等教育教育法(図画工作)』『初等教育教育法(家庭)』『初等教育教育法(体育)』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[小]』の10科目20単位修得。</p> <p><中等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論[中・高]』『教職論[中・高]』『教育行政学[中・高]』『教育課程論[中・高]』『教育方法論[中・高]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程[中・高]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法[中]』『特別活動の理論と方法[中・高]』『生徒指導論[中・高]』『学級経営論[中・高]』『進路指導論[中・高]』『教育相談[中・高]』の6科目10単位修得。 ⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文化』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。 国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文章法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文学Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。 ⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]』の3科目6単位修得。 国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]』の3科目6単位修得。</p> <p>(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))</p>												

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
英語	英語 A I	1 前	1					1			3
	英語 A II	1 後	1					1			3
	英語 B I	1 前	1					1			3
	英語 B II	1 後	1					1			3
	英語 C I	1 前	1					1			3
	英語 C II	1 後	1					1			3
	英語 D I	1 前	1					1			3
	英語 D II	1 後	1					1			3
	英語 E I	2 前	1					1			3
	英語 E II	2 後	1					1			3
	英語 F I	2・3・4 前	1					1			3
	英語 F II	2・3・4 後	1					1			3
	英語 G I	2・3・4 前	1					1			3
	英語 G II	2・3・4 後	1					1			3
小計 (14科目)	—	10	4	0	0	0	1	0	0	0	兼5
論理的思考 ／ 表現的思考	論理的思考法	1 前	2								1
	論理的表現法	1 後	2								1
	プレゼンテーション A (日本語)	1 後	2								1
	プレゼンテーション B (English)	2・3・4 前	2								1
小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼2
人文科学	哲学	1・2・3・4 前	2								1
	倫理学	1・2・3・4 前	2								1
	宗教学	1・2・3・4 後	2								1
	心理学概論	1・2・3・4 前	2		1						1
	芸術学	1・2・3・4 前	2								1
	日本文学史	1・2・3・4 前	2		1						1
	史学概論	1・2・3・4 前	2								1
小計 (7科目)	—	0	14	0	2	0	0	0	0	0	兼3
社会科学	憲法	1・2 前	2								1
	法学	1・2・3・4 後	2								1
	政治学	1・2・3・4 前	2								1
	経済学	1・2・3・4 前	2								1
	経営学	1・2・3・4 後	2								1
	社会学	1・2・3・4 後	2								1
小計 (6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼5
自然科学	生物学	1・2・3・4 後	2								1
	人間工学	1・2・3・4 後	2								1
	物理学	1・2・3・4 前	2								1
	地球科学	1・2・3・4 後	2								1
	数学	1・2・3・4 前	2		1						1
小計 (5科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0	0	兼2
外国語	ドイツ語 I	1・2 前	1								1
	ドイツ語 II	1・2 後	1								1
	フランス語 I	1・2 前	1		1						1
	フランス語 II	1・2 後	1		1						1
	中国語 I	1・2 前	1			1					1
	中国語 II	1・2 後	1			1					1
小計 (6科目)	—	0	6	0	1	1	0	0	0	0	兼1
総合	グローバル社会を生きる	1 前	2								2
小計 (1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2
スポーツ 健康	スポーツ実技 I	1 前	1			1					
	スポーツ実技 II	1 後	1			1					
	健康づくり運動論	2・3・4 前	2			1					
	小計 (3科目)	—	0	4	0	0	1	0	0	0	0
情報	情報機器の操作 I	1 前	2								2
	情報機器の操作 II	1 後	2								2
	情報処理概論	1 前	2								1
	小計 (3科目)	—	2	4	0	0	0	0	0	0	0

【令和元年度】※令和元年度入学者（教職再課程認定による授業科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
英語	英語 A I	1 前	1					1			3
	英語 A II	1 後	1					1			3
	英語 B I	1 前	1					1			3
	英語 B II	1 後	1					1			3
	英語 C I	1 前	1					1			3
	英語 C II	1 後	1					1			3
	英語 D I	1 前	1					1			3
	英語 D II	1 後	1					1			3
	英語 E I	2 前	1					1			3
	英語 E II	2 後	1					1			3
	英語 F I	2・3・4 前	1					1			3
	英語 F II	2・3・4 後	1					1			3
	英語 G I	2・3・4 前	1					1			1
	英語 G II	2・3・4 後	1					1			1
小計 (14科目)	—	10	4	0	0	0	1	0	0	0	兼8
論理的思考 ／ 表現的思考	論理的思考法	1 前	2								1
	論理的表現法	1 後	2								1
	プレゼンテーション A (日本語)	1 後	2								1
	プレゼンテーション B (English)	2・3・4 前	2								1
小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼2
人文科学	哲学	1・2・3・4 前	2								2
	倫理学	1・2・3・4 前	2								2
	宗教学	1・2・3・4 後	2								1
	心理学概論	1・2・3・4 前	2		1						1
	芸術学	1・2・3・4 前	2								1
	日本文学史	1・2・3・4 前	2		1						1
	史学概論	1・2・3・4 前	2								1
小計 (7科目)	—	0	14	0	2	0	0	0	0	0	兼4
社会科学	憲法	1・2 前	2								2
	法学	1・2・3・4 後	2								1
	政治学	1・2・3・4 前	2								1
	経済学	1・2・3・4 前	2								1
	経営学	1・2・3・4 後	2								1
	社会学	1・2・3・4 後	2								2
小計 (6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼6
自然科学	生物学	1・2・3・4 後	2								1
	人間工学	1・2・3・4 後	2								1
	物理学	1・2・3・4 前	2								1
	地球科学	1・2・3・4 後	2								1
	数学	1・2・3・4 前	2		1						1
小計 (5科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0	0	兼4
外国語	ドイツ語 I	1・2 前	1								1
	ドイツ語 II	1・2 後	1								1
	フランス語 I	1・2 前	1		1						1
	フランス語 II	1・2 後	1		1						1
	中国語 I	1・2 前	1			1					1
	中国語 II	1・2 後	1			1					1
小計 (6科目)	—	0	6	0	1	1	0	0	0	0	兼1
総合	グローバル社会を生きる	1 前	2								2
小計 (1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2
スポーツ 健康	スポーツ実技 I	1 前	1			1					
	スポーツ実技 II	1 後	1			1					
	健康づくり運動論	2・3・4 前	2			1					
	小計 (3科目)	—	0	4	0	0	1	0	0	0	0
情報	情報機器の操作 I	1 前	2								2
	情報機器の操作 II	1 後	2								2
	情報処理概論	1 後	2								1
	小計 (3科目)	—	2	4	0	0	0	0	0	0	0

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	教育の基礎	教育学概論【小】	1	前	2	1						
		教育学概論【中・高】	1	前	2	1						
		教職論【小】	1	前	2	1						
		教職論【中・高】	1	前	2	1						
		教育行政学【小】	1	後	2	1						
		教育行政学【中・高】	1	後	2	1						
		教育課程論【小】	1	後	2	2						1
		教育課程論【中・高】	1	後	2	2						1
		教育方法論【小】	2	前	2	2						1
		教育方法論【中・高】	2	前	2	2						1
		教育法規【小】	2	前	2	2	1					
	教育法規【中・高】	2	前	2	2	1						
	教育時事問題	3	前	2	2		1					
	青少年と国際教育	3	前	2	2						1	
	小計（14科目）	—	0	28	0	1	1	0	0	0	0	兼2
	教育を支える心理学	心身の発達と学習過程【小】	1	後	2	2	1					
		心身の発達と学習過程【中・高】	1	後	2	2	1					
		教育心理学	1	後	2	2	1					
		発達心理学	1	後	2	2	1					
		青年心理学	1	前	2	2	1					
社会心理学		1	後	2	2	1						
学校心理学		2	前	2	2	1						
発達支援論		2	前	2	2	1						
障がい児・者の心理学		2	前	2	2	1						
家族心理学		2	後	2	2	1						
臨床心理学		2	前	2	2	1						
パーソナリティ心理学	2	前	2	2	2					1		
健康心理学	2	後	2	2	1							
小計（13科目）	—	0	26	0	3	0	0	0	0	0	兼1	
教育者としての専門性	道徳教育の理論と方法【小】	2	前	2	2	1						
	道徳教育の理論と方法【中】	2	前	2	2	1						
	特別活動の理論と方法【小】	2	後	2	2						1	
	特別活動の理論と方法【中・高】	2	後	2	2						1	
	生徒指導論【小】	2	前	2	2						1	
	生徒指導論【中・高】	2	前	2	2						1	
	学級経営論【小】	2	後	1	1						1	
	学級経営論【中・高】	2	後	1	1		1					
	進路指導論【小】	2	後	1	1						1	
	進路指導論【中・高】	2	後	1	1						1	
	教育相談【小】	3	前	2	2	1						
	教育相談【中・高】	3	後	2	2	1						
	教育における調査と統計	3	後	2	2	1						
	国際バカロレア教育研究	3	後	2	2						1	
	ICTを活用した授業実践研究A	2	前	2	2						1	
	ICTを活用した授業実践研究B	2	後	2	2						1	
	青少年と情報メディア	3	後	2	2						1	
小計（17科目）	—	0	30	0	2	1	0	0	0	0	兼7	

【令和元年度】※令和元年度入学者（教職再課程認定による授業科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	教育の基礎	教育学概論【小】	1	前	2	1						
		教育学概論【中・高】	1	前	2	1						
		教職論【小】	1	前	2	1						
		教職論【中・高】	1	前	2	1						
		教育行政学【小】	1	後	2	1						
		教育行政学【中・高】	1	後	2	1						
		教育課程論【小】	2	前	2	2						1
		教育課程論【中・高】	2	前	2	2						1
		教育方法論【小】	2	前	2	2						1
		教育方法論【中・高】	2	前	2	2						1
		特別な教育的ニーズの理解とその支援【小】	3	前	2	2		1				
		特別な教育的ニーズの理解とその支援【中・高】	3	前	2	2		1				
	教育時事問題	3	前	2	2			1				
	青少年と国際教育	3	前	2	2						1	
	小計（12科目）	—	0	24	0	2	1	1	0	0	0	兼1
教育を支える心理学	心身の発達と学習過程【小】	1	後	2	2	1						
	心身の発達と学習過程【中・高】	1	後	2	2	1						
	教育心理学	1	後	2	2	1						
	発達心理学	1	後	2	2	1						
	青年心理学	1	前	2	2	1						
	社会心理学	1	後	2	2	1						
	学校心理学	2	前	2	2	1						
	発達支援論	2	前	2	2	1						
	障がい児・者の心理学	2	前	2	2	1						
	家族心理学	2	後	2	2	1						
	臨床心理学	2	前	2	2	1						
	パーソナリティ心理学	2	前	2	2	2					1	
	健康心理学	2	後	2	2	1						
小計（13科目）	—	0	26	0	3	0	0	0	0	0	兼1	
教育者としての専門性	道徳教育の理論と方法【小】	2	前	2	2	1						
	道徳教育の理論と方法【中】	2	前	2	2	1						
	総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)【小】	2	後	2	2	1		1				
	総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)【中・高】	2	後	2	2	1		1				
	特別活動の理論と方法【小】	2	後	2	2						1	
	特別活動の理論と方法【中・高】	2	後	2	2						1	
	生徒指導論(教育課程論を含む)【小】	2	前	2	2	1					1	
	生徒指導論(教育課程論を含む)【中・高】	2	前	2	2	1					1	
	教育相談と進路指導【小】	3	後	2	2	2						
	教育相談と進路指導【中・高】	3	後	2	2	2						
	教育における調査と統計	3	後	2	2	1						
	国際バカロレア教育研究	3	後	2	2						1	
ICTを活用した授業実践研究A	2	前	2	2						1		
ICTを活用した授業実践研究B	2	後	2	2						1		
青少年と情報メディア	3	後	2	2						1		
小計（15科目）	—	0	30	0	4	1	1	0	0	0	兼5	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
児童教育の専門科目	国語科教育研究（書写を含む）	1 前	2			1						
	社会科教育研究	1 前	2			1						
	算数科教育研究 I	1 前	2			1						
	算数科教育研究 II	1 後	2			1						
	理科教育研究 I	2 前	2					1				
	理科教育研究 II	2 後	2					1				
	生活科教育研究	1 前	2					1				
	音楽科教育研究 I	1 前	2			1						
	音楽科教育研究 II	1 後	2			1						
	図画工作科教育研究 I	1 前	2								1	
	図画工作科教育研究 II	1 後	2								1	
	家庭科教育研究	2 後	2								1	
	体育科教育研究 I	1 前	2			1						
	体育科教育研究 II	1 後	2			1						
	外国語活動研究	2 前	2								1	
小計（15科目）	—	—	0	30	0	3	2	2	0	0	兼3	
英語教育の専門科目	英語学概論	1 後	2								1	
	英文法	2 前	2								1	
	イギリスの文学 A	1 前	2		1							
	イギリスの文学 B	1 後	2		1							
	アメリカの文学 A	1 前	2								1	
	アメリカの文学 B	1 後	2								1	
	英語コミュニケーション A	2 前	2				1					
	英語コミュニケーション B	2 後	2								1	
	総合英語 I	2 前	2		1							
	総合英語 II	2 後	2		1							
	ヨーロッパの生活と文化 A	1 前	2		1							
	ヨーロッパの生活と文化 B	1 前	2								1	
	イギリスの生活と文化	1 後	2		1							
	アメリカの生活と文化	1 前	2								1	
	小計（14科目）	—	—	0	28	0	2	0	1	0	0	兼4
国語教育の専門科目	国語学概論	1 後	2		1							
	日本語の表現	2 前	2		1							
	日本語文章法	2 後	2		1							
	日本語のレトリック	2 前	2		1							
	国文学史 A	1 前	2		1							
	国文学史 B	1 後	2		1							
	日本の古典文学 A	2 前	2		1							
	日本の古典文学 B	2 後	2		1							
	日本の近代文学 A	2 前	2		1							
	日本の近代文学 B	2 後	2		1							
	中国の文学	2 前	2			1						
	漢文学 I	2 前	2			1						
	漢文学 II	2 後	2			1						
	書道	1 後	2		1							
小計（14科目）	—	—	0	28	0	2	1	0	0	0	兼0	

【令和元年度】※令和元年度入学者（教職再課程認定による授業科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
児童教育の専門科目	国語科教育研究（書写を含む）	1 前	2			1						
	社会科教育研究	1 前	2			1						
	算数科教育研究	1 前	2			1						
	理科教育研究	2 前	2					1				
	生活科教育研究	1 前	2					1				
	音楽科教育研究	1 前	2			1						
	図画工作科教育研究	1 前	2								1	
	家庭科教育研究	2 後	2								1	
	体育科教育研究	1 前	2					1				
	英語科教育研究	2 前	2					1				
	教科教育研究 A	2 前	1			2	1	2				
	教科教育研究 B	2 後	1			1	1	2				2
小計（12科目）	—	—	0	22	0	3	2	2	0	0	兼2	
英語教育の専門科目	英語学概論	1 後	2									1
	英文法	2 後	2									1
	英語文学 A	1 前	2		1							1
	英語文学 B	1 後	2									1
	イギリスの文学	1 前	2		1							
	アメリカの文学	1 前	2									1
	Reading A	2 前	1									1
	Reading B	2 後	1									1
	Writing A	2 前	1									1
	Writing B	2 後	1									1
	Listening A	2 前	1					1				
	Listening B	2 後	1					1				
	Speaking A	2 前	1					1				
	Speaking B	2 後	1					1				
	異文化の理解に向けて	1 前	2		1							
	英語圏の国々の歴史と文化	1 後	2		1							
	ヨーロッパの生活と文化 A	1 前	2		1							
	ヨーロッパの生活と文化 B	1 後	2									1
	イギリスの生活と文化	1 後	2		1							
	アメリカの生活と文化	1 前	2									1
小計（20科目）	—	—	0	32	0	2	0	1	0	0	兼4	
国語教育の専門科目	国語学概論	1 後	2		1							
	日本語の表現	2 前	2		1							
	日本語文章法	2 後	2		1							
	日本語のレトリック	2 前	2		1							
	国文学史 A	1 前	2		1							
	国文学史 B	1 後	2		1							
	日本の古典文学 A	2 前	2		1							
	日本の古典文学 B	2 後	2		1							
	日本の近代文学 A	2 前	2		1							
	日本の近代文学 B	2 後	2		1							
	中国の文学	2 前	2			1						
	漢文学 I	2 前	2			1						
	漢文学 II	2 後	2			1						
	書道	1 後	2		1							
小計（14科目）	—	—	0	28	0	2	1	0	0	0	兼0	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門科目	初等教育教育法（国語）	初等教育教育法（国語）	2・3 前	2			1					
		初等教育教育法（社会）	2・3 後	2			1					
		初等教育教育法（算数）	2・3 後	2			1					
		初等教育教育法（理科）	2・3 後	2					1			
		初等教育教育法（生活）	2・3 前	2					1			
		初等教育教育法（音楽）	2・3 後	2			1					
		初等教育教育法（園画工作）	2・3 前	2							1	
		初等教育教育法（家庭）	2・3 後	2							1	
		初等教育教育法（体育）	2・3 後	2			1					
		初等教育教育法（外国語活動）	2・3 後	2							1	
		教職研究Ⅰ（教職実務Ⅰ）【小】	2 前	2			1		1			
		教職研究Ⅱ（教職実務Ⅱ）【小】	2 後	2			1		1			
		教育実習Ⅰ【小】	4 通	2			2	2	2			
		教育実習Ⅱ【小】	4 通	2			2	2	2			
		教育実習事前事後指導【小】	4 通	1			2	2	2			
		教職実践演習【小】	4 後	2			2					
	小計（16科目）		—	0	31	0	5	3	2	0	0	兼3
	中学校・高等学校	英語科教育法Ⅰ	2 前	2								1
		英語科教育法Ⅱ	2 後	2								1
		英語科教育法Ⅲ	3 前	2								1
		英語科教育法Ⅳ	3 後	2								1
		国語科教育法Ⅰ	2 前	2								1
		国語科教育法Ⅱ	2 後	2								1
		国語科教育法Ⅲ	3 前	2								1
		国語科教育法Ⅳ	3 後	2								1
		教職研究Ⅰ（教職実務Ⅰ）【中・高】	2 前	2			1	1				
		教職研究Ⅱ（教職実務Ⅱ）【中・高】	2 後	2			1	1				
		教育実習Ⅰ【中・高】	4 通	2			3					
		教育実習Ⅱ【中】	4 通	2			3					
		教育実習事前事後指導【中・高】	4 通	1			3					
	教職実践演習【中・高】	4 後	2			2						
	小計（14科目）		—	0	27	0	4	1	0	0	0	兼2
	共通	教職研究Ⅲ（学校教育の今日的課題Ⅰ）	3 前		2		1					
		教職研究Ⅳ（学校教育の今日的課題Ⅱ）	3 後		2							1
		教職研究Ⅴ（学校教育の今日的課題Ⅲ）	4 前		2							1
	小計（3科目）		—	0	6	0	1	0	0	0	0	兼2
	ゼミナル	ゼミナルⅠ	1 通	2			3	2				
		ゼミナルⅡ	2 通	2			3	2				
		ゼミナルⅢ	3 通	4			8	2	2			
ゼミナルⅣ		4 通	4			8	2	2				
小計（4科目）			—	12	0	0	10	4	2	0	0	兼0
合計（173科目）		—	26	296	0	12	5	3	0	0	兼39	

【令和元年度】※令和元年度入学者（教職再課程認定による授業科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門科目	初等教育教育法（国語）	初等教育教育法（国語）	2・3 前	2			1					
		初等教育教育法（社会）	2・3 後	2			1					
		初等教育教育法（算数）	2・3 後	2			1					
		初等教育教育法（理科）	2・3 後	2					1			
		初等教育教育法（生活）	2・3 前	2					1			
		初等教育教育法（音楽）	2・3 後	2			1					
		初等教育教育法（園画工作）	2・3 前	2							1	
		初等教育教育法（家庭）	2・3 後	2							1	
		初等教育教育法（体育）	2・3 後	2						1		
		初等教育教育法（英語）	2・3 後	2						1		
		教育実習Ⅰ【小】	4 通	2			2	2	2			
		教育実習Ⅱ【小】	4 通	2			2	2	2			
		教育実習事前事後指導【小】	4 通	1			2	2	2			
		教職実践演習【小】	4 後	2			2		1			
	小計（14科目）		—	0	27	0	5	4	2	0	0	兼2
	中学校・高等学校	英語科教育法Ⅰ	2 前	2			1					
		英語科教育法Ⅱ	2 後	2			1					
		英語科教育法Ⅲ	3 前	2			1					
		英語科教育法Ⅳ	3 後	2			1					
		国語科教育法Ⅰ	2 前	2			1	2				
		国語科教育法Ⅱ	2 後	2			1	2				
国語科教育法Ⅲ		3 前	2			1	2					
国語科教育法Ⅳ		3 後	2			1	2					
教育実習Ⅰ【中・高】		4 通	2			3						
教育実習Ⅱ【中】		4 通	2			3						
教育実習事前事後指導【中・高】	4 通	1			3							
教職実践演習【中・高】	4 後	2			2		1					
小計（12科目）		—	0	23	0	7	3	0	0	0	兼0	
ゼミナル	ゼミナルⅠ	1 通	2			3	2					
	ゼミナルⅡ	2 通	2			3	2					
	ゼミナルⅢ	3 通	4			7	2	2				
	ゼミナルⅣ	4 通	4			7	2	2				
	小計（4科目）		—	12	0	0	9	4	2	0	0	兼0
合計（165科目）		—	26	274	0	11	5	3	0	0	兼35	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必	選	自	教	准	講	助	助	
卒業要件及び履修方法											
<p><初等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論 [小]』『教職論 [小]』『教育行政学 [小]』『教育課程論 [小]』『教育方法論 [小]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程 [小]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道德教育の理論と方法 [小]』『特別活動の理論と方法 [小]』『生徒指導論 [小]』『学級経営論 [小]』『進路指導論 [小]』『教育相談 [小]』の6科目10単位修得。 ⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究 (書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究』『理科教育研究』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上 (ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。 ⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法 (国語)』『初等教育教育法 (社会)』『初等教育教育法 (算数)』『初等教育教育法 (理科)』『初等教育教育法 (生活)』『初等教育教育法 (音楽)』『初等教育教育法 (図画工作)』『初等教育教育法 (家庭)』『初等教育教育法 (体育)』『教職研究Ⅰ (教職実務Ⅰ) [小]』の10科目20単位修得。</p> <p><中等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論 [中・高]』『教職論 [中・高]』『教育行政学 [中・高]』『教育課程論 [中・高]』『教育方法論 [中・高]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程 [中・高]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道德教育の理論と方法 [中]』『特別活動の理論と方法 [中・高]』『生徒指導論 [中・高]』『学級経営論 [中・高]』『進路指導論 [中・高]』『教育相談 [中・高]』の6科目10単位修得。 ⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文化』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。 国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文学Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。 ⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ (教職実務Ⅰ) [中・高]』の3科目6単位修得。 国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ (教職実務Ⅰ) [中・高]』の3科目6単位修得。</p> <p>(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位 (年間))</p>											

【令和元年度】※令和元年度入学者 (教職再課程認定による授業科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必	選	自	教	准	講	助	助	
卒業要件及び履修方法											
<p><初等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論 [小]』『教職論 [小]』『教育行政学 [小]』『教育方法論 [小]』『特別な教育的ニーズの理解とその支援 [小]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程 [小]』の2単位修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道德教育の理論と方法 [小]』『総合的な学習の時間の指導法 (教育課程論を含む) [小]』『特別活動の理論と方法 [小]』『生徒指導論 (教育課程論を含む) [小]』『教育相談と進路指導 [小]』の5科目10単位修得。 ⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究 (書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究』『理科教育研究』『生活科教育研究』『音楽科教育研究』『図画工作科教育研究』『家庭科教育研究』『体育科教育研究』『英語科教育研究』『教科教育研究A』『教科教育研究B』の12科目22単位修得。 ⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法 (国語)』『初等教育教育法 (社会)』『初等教育教育法 (算数)』『初等教育教育法 (理科)』『初等教育教育法 (生活)』『初等教育教育法 (音楽)』『初等教育教育法 (図画工作)』『初等教育教育法 (家庭)』『初等教育教育法 (体育)』『初等教育教育法 (英語)』の10科目20単位修得。</p> <p><中等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論 [中・高]』『教職論 [中・高]』『教育行政学 [中・高]』『教育方法論 [中・高]』『特別な教育的ニーズの理解とその支援 [中・高]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程 [中・高]』の2単位修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道德教育の理論と方法 [中]』『生徒指導論 (教育課程論を含む) [中・高]』『教育相談と進路指導 [中・高]』の5科目10単位修得。 ⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文化』『英語文学A』『英語文学B』『Reading A』『Reading B』『Writing A』『Writing B』『Listening A』『Listening B』『Speaking A』『Speaking B』『異文化の理解に向けて』『英語圏の国々の歴史と文化』の14科目20単位修得。 国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文法』『国文学史A』『国文学史B』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文学Ⅰ』『漢文学Ⅱ』『書道』の11科目22単位修得。 ⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『英語科教育法Ⅲ』『英語科教育法Ⅳ』の4科目8単位修得。 国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『国語科教育法Ⅲ』『国語科教育法Ⅳ』の4科目8単位修得。 ⑦ 英語コースの場合は、『イギリスの文学』『アメリカの文学』『イギリスの生活と文化』『アメリカの生活と文化』『ヨーロッパの生活と文化A』『ヨーロッパの生活と文化B』『教育時事問題』『青少年と国際教育』『教育における調査と統計』『国際バカロレア教育研究』『ICTを活用した授業実践研究A』『ICTを活用した授業実践研究B』『青少年と情報メディア』の13科目の中から6単位以上修得。 国語コースの場合は、『日本語のレトリック』『日本の古典文学B』『日本の近代文学B』『教育時事問題』『青少年と国際教育』『教育における調査と統計』『国際バカロレア教育研究』『ICTを活用した授業実践研究A』『ICTを活用した授業実践研究B』『青少年と情報メディア』の10科目の中から6単位以上修得。</p> <p>(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位 (年間))</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号 (その2の1) に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て (兼任・兼任教員が担当する科目を含む。) を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度 (平成29年度開設であれば平成28年度) の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
専門科目	共通	教職研究Ⅲ(学校教育の今日的課題Ⅰ)	3前	2		1						
		教職研究Ⅳ(学校教育の今日的課題Ⅱ)	3後	2								1
		教職研究Ⅴ(学校教育の今日的課題Ⅲ)	4前	2								1
	小計(3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0	0	兼2
	ゼミナール	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2				
		ゼミナールⅡ	2通	2			3	2				
		ゼミナールⅢ	3通	4			8	2	2			
		ゼミナールⅣ	4通	4			8	2	2			
		小計(4科目)	—	12	0	0	10	4	2	0	0	0
	合計(173科目)	—	26	296	0	12	5	3	0	0	0	兼41

卒業要件及び履修方法

<初等教育専攻>
必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。
① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。
② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論【小】』『教職論【小】』『教育行政学【小】』『教育課程論【小】』『教育方法論【小】』の5科目10単位修得。
③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程【小】』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。
④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法【小】』『特別活動の理論と方法【小】』『生徒指導論【小】』『学級経営論【小】』『進路指導論【小】』『教育相談【小】』の6科目10単位修得。
⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究(書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究』『理科教育研究』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。
⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法(国語)』『初等教育教育法(社会)』『初等教育教育法(算数)』『初等教育教育法(理科)』『初等教育教育法(生活)』『初等教育教育法(音楽)』『初等教育教育法(図画工作)』『初等教育教育法(家庭)』『初等教育教育法(体育)』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【小】』の10科目20単位修得。

<中等教育専攻>
必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。
① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。
② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論【中・高】』『教職論【中・高】』『教育行政学【中・高】』『教育課程論【中・高】』『教育方法論【中・高】』の5科目10単位修得。
③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程【中・高】』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。
④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法【中】』『特別活動の理論と方法【中・高】』『生徒指導論【中・高】』『学級経営論【中・高】』『進路指導論【中・高】』『教育相談【中・高】』の6科目10単位修得。
⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文法』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。
国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文章法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文学Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。
⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【中・高】』の3科目6単位修得。
国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【中・高】』の3科目6単位修得。

(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
専門科目	共通	教職研究Ⅲ(学校教育の今日的課題Ⅰ)	3前	2		1						
		教職研究Ⅳ(学校教育の今日的課題Ⅱ)	3後	2							1	
		教職研究Ⅴ(学校教育の今日的課題Ⅲ)	4前	2							1	
	小計(3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0	0	兼2
	ゼミナール	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2				
		ゼミナールⅡ	2通	2			3	2				
		ゼミナールⅢ	3通	4			8	2	2			
		ゼミナールⅣ	4通	4			8	2	2			
		小計(4科目)	—	12	0	0	10	4	2	0	0	0
	合計(173科目)	—	26	296	0	12	5	3	0	0	0	兼41

卒業要件及び履修方法

<初等教育専攻>
必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。
① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。
② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論【小】』『教職論【小】』『教育行政学【小】』『教育課程論【小】』『教育方法論【小】』の5科目10単位修得。
③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程【小】』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。
④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法【小】』『特別活動の理論と方法【小】』『生徒指導論【小】』『学級経営論【小】』『進路指導論【小】』『教育相談【小】』の6科目10単位修得。
⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究(書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究』『理科教育研究』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。
⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法(国語)』『初等教育教育法(社会)』『初等教育教育法(算数)』『初等教育教育法(理科)』『初等教育教育法(生活)』『初等教育教育法(音楽)』『初等教育教育法(図画工作)』『初等教育教育法(家庭)』『初等教育教育法(体育)』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【小】』の10科目20単位修得。

<中等教育専攻>
必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。
① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。
② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論【中・高】』『教職論【中・高】』『教育行政学【中・高】』『教育課程論【中・高】』『教育方法論【中・高】』の5科目10単位修得。
③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程【中・高】』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。
④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法【中】』『特別活動の理論と方法【中・高】』『生徒指導論【中・高】』『学級経営論【中・高】』『進路指導論【中・高】』『教育相談【中・高】』の6科目10単位修得。
⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文法』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。
国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文章法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文学Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。
⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【中・高】』の3科目6単位修得。
国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【中・高】』の3科目6単位修得。

(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育効果を高めるため、「情報処理概論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「ヨーロッパの生活と文化B」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（国語）」から「初等教科教育法（国語）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（社会）」から「初等教科教育法（社会）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（算数）」から「初等教科教育法（算数）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（理科）」から「初等教科教育法（理科）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（生活）」から「初等教科教育法（生活）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（音楽）」から「初等教科教育法（音楽）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（図画工作）」から「初等教科教育法（図画工作）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（家庭）」から「初等教科教育法（家庭）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（体育）」から「初等教科教育法（体育）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（外国語活動）」から「初等教科教育法（外国語活動）」に変更。

【平成30年度】

- ・英語科目の担当教員変更に伴い、「英語FⅠ」「英語FⅡ」の兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・英語科目の担当教員変更に伴い、「英語GⅠ」「英語GⅡ」の兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「英文法」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。

【令和元年度】※平成29～30年度入学者

- ・英語科目の担当教員変更に伴い、「英語FⅠ」「英語FⅡ」の兼任・兼担の配置を「1」から「0」に変更。
- ・教育効果を高めるためのクラス分けにより、「哲学」「倫理学」「憲法」「社会学」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「体育科教育研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。

【令和元年度】※令和元年度入学者（教職再課程認定による授業科目）

- ・英語科目の担当教員変更に伴い、「英語FⅠ」「英語FⅡ」の兼任・兼担の配置を「1」から「0」に変更。
- ・教育効果を高めるためのクラス分けにより、「哲学」「倫理学」「憲法」「社会学」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教育方法論[小]」「教育方法論[中・高]」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「講師1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「特別な教育的ニーズの理解とその支援[小]」「特別な教育的ニーズの理解とその支援[中・高]」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)[小]」「総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)[中・高]」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「生徒指導論(教育課程論を含む)[小]」「生徒指導論(教育課程論を含む)[中・高]」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「教育相談と進路指導[小]」「教育相談と進路指導[中・高]」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「算数科教育研究Ⅰ」から「算数科教育研究」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「理科教育研究Ⅰ」から「理科教育研究」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「音楽科教育研究Ⅰ」から「音楽科教育研究」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「図画工作科教育研究Ⅰ」から「図画工作科教育研究」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「体育科教育研究Ⅰ」から「体育科教育研究」に変更。また、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「外国語活動研究」から「英語科教育研究」に変更。また、専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「教科教育研究A」「教科教育研究B」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「英語文学A」「英語文学B」「Reading A」「Reading B」「Writing A」「Writing B」「Listening A」「Listening B」「Speaking A」「Speaking B」「異文化の理解に向けて」「英語圏の国々の歴史と文化」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「イギリスの文学A」から「イギリスの文学」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「アメリカの文学A」から「アメリカの文学」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「初等教科教育法（体育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目名称を「初等教育教育法（外国語活動）」から「初等教科教育法（英語）」に変更。また、専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。

- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教職実践演習〔小〕」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅲ」「英語科教育法Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「国語科教育法Ⅰ」「国語科教育法Ⅱ」「国語科教育法Ⅲ」「国語科教育法Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」「准教授2」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教職実践演習〔中・高〕」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「ゼミナールⅢ」「ゼミナールⅣ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況【平成29～30年度入学者】				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
16 科目	157 科目	0 科目	173 科目	16 科目 [0]	157 科目 [0]	0 科目 [0]	173 科目 [0]	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）により、令和元年度入学者の教育課程を変更。
				変更状況【令和元年度入学者】				
				必修	選択	自由	計	
				16 科目 [0]	149 科目 [△8]	0 科目 [0]	165 科目 [△8]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、〔 〕内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

【平成29～30年度入学者】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

【令和元年度入学者】※教職再課程認定による授業科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

【平成29～30年度入学者】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

【令和元年度入学者】※教職再課程認定による授業科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教育課程論 [小]	2	1	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
2	教育課程論 [中・高]	2	1	専門	選択	
3	生徒指導論 [小]	2	2	専門	選択	
4	生徒指導論 [中・高]	2	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更による科目の廃止。
5	教育法規 [小]	2	2	専門	選択	
6	教育法規 [中・高]	2	2	専門	選択	
7	学級経営論 [小]	1	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
8	学級経営論 [中・高]	1	2	専門	選択	
9	進路指導論 [小]	1	2	専門	選択	
10	進路指導論 [中・高]	1	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
11	教育相談 [小]	2	3	専門	選択	
12	教育相談 [中・高]	2	3	専門	選択	
13	算数科教育研究Ⅱ	2	1	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更による科目の廃止。
14	理科教育研究Ⅱ	2	2	専門	選択	
15	音楽科教育研究Ⅱ	2	1	専門	選択	
16	図画工作科教育研究Ⅱ	2	1	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
17	体育科教育研究Ⅱ	2	1	専門	選択	
18	イギリスの文学B	2	1	専門	選択	
19	アメリカの文学B	2	1	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
20	英語コミュニケーションA	2	2	専門	選択	
21	英語コミュニケーションB	2	2	専門	選択	
22	総合英語Ⅰ	2	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更による科目の廃止。
23	総合英語Ⅱ	2	2	専門	選択	

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
24	教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[小]	2	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正(再課程認定)に伴う教育課程の変更による科目の廃止。
25	教職研究Ⅱ(教職実務Ⅱ)[小]	2	2	専門	選択	
26	教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]	2	2	専門	選択	
27	教職研究Ⅱ(教職実務Ⅱ)[中・高]	2	2	専門	選択	
28	教職研究Ⅲ(学校教育の今日的課題Ⅰ)	2	3	専門	選択	
29	教職研究Ⅳ(学校教育の今日的課題Ⅱ)	2	3	専門	選択	
30	教職研究Ⅴ(学校教育の今日的課題Ⅲ)	2	4	専門	選択	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和元年度からの教育職員免許法及び施行規則の改正(再課程認定)に伴う教育課程の変更(廃止科目)については、経過措置として変更前の教育課程適用学生(平成29~30年度入学者)の履修状況等を考慮した上で、令和2年度以降の開講を決定する予定(令和元年度は対象科目全て開講)。
 なお、学生に対しては、毎年度4月の履修ガイダンス時に学年ごとに「履修に関する説明」を実施し、周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

【平成29~30年度入学者】

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{173} = \boxed{0}\%$$

【令和元年度入学者】※教職再課程認定による授業科目

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{30}{173} = \boxed{17.34}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設 置 時 (29年4月)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項 (29)退職等による後任補充にあたっては、教育・研究水準の維持に留意しつつ、教育組織の継続性を担保できるよう、専門領域、職位、年齢構成のバランスに配慮しながら公募を行うとともに、若手教員の昇任人事を視野に入れて研究活動を奨励していく。	履行中 留意事項として付された定年規程に定める退職年齢を超える教員7名については、任期満了後の専任教員欠員による採用計画において、高齢化を是正し、かつバランスのよい年齢構成の教員編成に配慮しながら完成年度となる平成32年度内に教員採用を行う予定である。
設置計画履行状況調査時 (30年2月)	・教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見 (30)退職等による後任補充にあたっては、引き続き教育・研究水準の維持に留意しつつ、教育組織の継続性を担保できるよう、専門領域、職位、年齢構成のバランスに配慮しながら公募を行うとともに、若手教員の昇任人事を視野に入れて研究活動を奨励していく。	履行中 改善意見のあった、定年規程に定める退職年齢を超える教員7名については、任期満了後の専任教員欠員による採用計画において、高齢化を是正し、かつバランスのよい年齢構成の教員編成に配慮しながら完成年度となる平成32年度内に教員採用を行う予定である。
設置計画履行状況調査時 (31年3月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 入学者選抜方法及び選抜体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦入試（指定校・公募）の選抜方法 書類審査と面接によって教育者としての適性と幅広い知識と学力を測る。 	<p>① 推薦入試（指定校・公募）の選抜方法について、公募推薦の場合のみ小論文を追加。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「FD推進センター」（委員5名：教育学部2名、国際教養学部3名）により、授業方法、内容等の改善に取り組み、大学としての教育力の向上を図っている。 ※「FD推進センター規則」添付 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD推進センター会議は、平成31年4月24日（水）に第1回が開催され、副学長と委員5名全員、及び担当事務員が列席した。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度のFD活動について（前年度の踏襲とその活性化への方策） ・学生参加型FDの試み ・FD研修について <p>② 実施状況（平成30年度実績）</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBによる授業アンケート ・紙媒体による授業アンケート ・授業の全面公開（教員相互の授業見学） ・授業実践報告会 ・外部講師を招いてのICT研修会 ・学生参加型FDの試み <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBによる授業アンケート 授業実施期間を通して、WEBによる授業アンケートを実施 ・紙媒体による授業アンケート 後期第14回 or 第15回の授業において実施 ・授業の全面公開（教員相互の授業見学） 専任・非常勤を問わず、すべての授業の随時見学が可能 ・授業実践報告会 全専任教員を5グループに分けて、年間5回実施
--

- ・外部講師を招いてのICT研修会
「ICT研修会：アクティブ・ラーニングの手法を通して」
 - ・学生参加型FDの試み
FD推進センター委員と学生FD委員がペアになったの授業見学
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・WEBによる授業アンケート
 - ・紙媒体による授業アンケート
 - ・授業の全面公開（教員相互の授業見学）
 - ・授業実践報告会
5月・6月・7月・11月・1月に実施（専任教員の平均参加率75%）
 - ・外部講師を招いてのICT研修会
10月に実施（専任教員の約90%が参加）
 - ・学生参加型FDの試み
2ペアが授業見学を実施
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・WEBによる授業アンケート、授業の全面公開（教員相互の授業見学）、授業実践報告会を踏まえ、授業づくりのための教員間の議論を促していく。
 - ・紙媒体による授業アンケートに関しては、結果を担当者に返し、それを受けての改善案を提出
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - ・授業実施期間を通して、WEBによる授業アンケートを実施
 - ・前期末と後期末に、紙媒体による授業アンケートを実施
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・WEBによるアンケート結果は、授業担当者、学長、学部長、FD推進センター長へ同時配信され、授業担当者は授業の中で受講生全員に回答
 - ・紙媒体によるアンケート結果は、集計結果をHPの「学内ポータル」にアップし、学生が閲覧できるようにした。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- 教育学部は、教育を通して社会に貢献する使命感を持ち、教育に対する深い理解と専門的な知識並びに実践的指導力を有し、新しい教育的な課題に対応できる教育者の養成を主たる目的としている。
- 平成29年度及び平成30年度は、授業科目の概要、教員組織については、設置の趣旨・目的に沿って、設置時の計画とおりに履行した。
- また、開設3年目となる今年度（令和元年度）においては、教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴い、今年度（令和元年度）入学者より教育課程の変更はあったが、設置の趣旨・目的に沿って、順調に開始している。
- 完成年度に向け、引き続き学生確保に努めていくと共に、学部の目的を達成するために設置計画を確実に実行に移していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和2年7月末日 公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和2年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受け、「適合」認定を得た。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年7月末日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

開智国際大学FD推進センター規則

(平成22年9月22日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、開智国際大学（以下、「本学」という。）において、ファカルティ・ディベロップメント（以下、「FD」という。）を推進するための実施体制等について定める。

(FDの定義)

第2条 FDとは、本学の教育理念並びに教育目標に基づき、教員の自主的・自律的な教育改善を推進する活動（教育研究の向上、促進を含む）とそれを支援するため、教職員が協働して組織的な研修及び研究をする活動をいう。

(業務)

第3条 FD推進センター（以下、「センター」という。）は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) FDに関する情報の収集及び提供
- (2) 授業アンケートの実施
- (3) 授業公開の実施
- (4) FD推進のための研究会等の実施
- (5) その他FD推進、実施に関すること

(センター長)

第4条 センターにセンター長1名を置く。

- 2 センター長はセンターの業務を統括し、センターを代表する。
- 3 センター長は本学専任教員の中から学長が指名する。
- 4 センター長の任期は2年とし、再任は妨げない。

(センター運営委員)

第5条 センターにセンター運営委員を若干名置く。

- 2 センター運営委員はセンター会議を構成し、センター長統括のもとセンターの運営にあたる。
- 3 センター運営委員は本学専任教員の中から学長が指名する。
- 4 センター運営委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(センター会議)

第6条 センターにセンター会議を置く。

- 2 センター会議は、センター長が召集し、その議長となる。
- 3 センター会議は、次の各号に掲げる審議を行う。
 - (1) 授業アンケートに関すること
 - (2) 授業公開に関すること
 - (3) FD推進のための研究会等に関すること
 - (4) その他FDに関すること

(センターの事務)

第7条 センターの事務は、総務会計課が処理する。

附 則

この規則は、平成22年9月22日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
英語	英語 A I	1 前	1				1				3
	英語 A II	1 後	1					1			3
	英語 B I	1 前	1					1			3
	英語 B II	1 後	1					1			3
	英語 C I	1 前	1					1			3
	英語 C II	1 後	1					1			3
	英語 D I	1 前	1					1			3
	英語 D II	1 後	1					1			3
	英語 E I	2 前	1					1			3
	英語 E II	2 後	1					1			3
	英語 F I	2・3・4 前	1	1				1			
	英語 F II	2・3・4 後	1	1				1			
	英語 G I	2・3・4 前	1	1				1			
	英語 G II	2・3・4 後	1	1				1			
	小計 (14科目)	—	—	10	4	0	0	0	1	0	0
論理／表現的思考	論理的思考法	1 前	2								1
	論理的表現法	1 後	2								1
	プレゼンテーション A (日本語)	1 後	2								1
	プレゼンテーション B (English)	2・3・4 前	2								1
	小計 (4科目)	—	—	0	8	0	0	0	0	0	0
人文科学	哲学	1・2・3・4 前	2								1
	倫理学	1・2・3・4 前	2								1
	宗教学	1・2・3・4 後	2								1
	心理学概論	1・2・3・4 前	2			1					1
	芸術学	1・2・3・4 前	2								1
	日本文学史	1・2・3・4 前	2			1					1
	史学概論	1・2・3・4 前	2								1
小計 (7科目)	—	—	0	14	0	2	0	0	0	0	兼3
社会科学	憲法	1・2 前	2								1
	法学	1・2・3・4 後	2								1
	政治学	1・2・3・4 前	2								1
	経済学	1・2・3・4 前	2								1
	経営学	1・2・3・4 後	2								1
	社会学	1・2・3・4 後	2								1
小計 (6科目)	—	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼5
自然科学基礎	生物学	1・2・3・4 後	2								1
	人間工学	1・2・3・4 後	2								1
	物理学	1・2・3・4 前	2								1
	地球科学	1・2・3・4 後	2								1
	数学	1・2・3・4 前	2			1					1
小計 (5科目)	—	—	0	10	0	1	0	0	0	0	兼2
外国語	ドイツ語 I	1・2 前	1								1
	ドイツ語 II	1・2 後	1								1
	フランス語 I	1・2 前	1			1					
	フランス語 II	1・2 後	1			1					
	中国語 I	1・2 前	1				1				
	中国語 II	1・2 後	1				1				
小計 (6科目)	—	—	0	6	0	1	1	0	0	0	兼1
総合	グローバル社会を生きる	1 前	2								2
小計 (1科目)	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
スポーツ健康	スポーツ実技 I	1 前	1			1					
	スポーツ実技 II	1 後	1			1					
	健康づくり運動論	2・3・4 前	2			1					
	小計 (3科目)	—	—	0	4	0	0	1	0	0	0
情報	情報機器の操作 I	1 前	2								2
	情報機器の操作 II	1 後	2								2
	情報処理概論	1 前	2								1
	小計 (3科目)	—	—	2	4	0	0	0	0	0	0

【令和元年度】※平成29～30年度入学者

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
英語	英語 A I	1 前	1				1				3
	英語 A II	1 後	1					1			3
	英語 B I	1 前	1					1			3
	英語 B II	1 後	1					1			3
	英語 C I	1 前	1					1			3
	英語 C II	1 後	1					1			3
	英語 D I	1 前	1					1			3
	英語 D II	1 後	1					1			3
	英語 E I	2 前	1					1			3
	英語 E II	2 後	1					1			3
	英語 F I	2・3・4 前	1	1				1			
	英語 F II	2・3・4 後	1	1				1			
	英語 G I	2・3・4 前	1	1				1			1
	英語 G II	2・3・4 後	1	1				1			1
	小計 (14科目)	—	—	10	4	0	0	0	1	0	0
論理／表現的思考	論理的思考法	1 前	2								1
	論理的表現法	1 後	2								1
	プレゼンテーション A (日本語)	1 後	2								1
	プレゼンテーション B (English)	2・3・4 前	2								1
	小計 (4科目)	—	—	0	8	0	0	0	0	0	0
人文科学	哲学	1・2・3・4 前	2								2
	倫理学	1・2・3・4 前	2								2
	宗教学	1・2・3・4 後	2								1
	心理学概論	1・2・3・4 前	2			1					1
	芸術学	1・2・3・4 前	2								1
	日本文学史	1・2・3・4 前	2			1					1
	史学概論	1・2・3・4 前	2								1
小計 (7科目)	—	—	0	14	0	2	0	0	0	0	兼4
社会科学	憲法	1・2 前	2								2
	法学	1・2・3・4 後	2								1
	政治学	1・2・3・4 前	2								1
	経済学	1・2・3・4 前	2								1
	経営学	1・2・3・4 後	2								1
	社会学	1・2・3・4 後	2								2
小計 (6科目)	—	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼6
自然科学基礎	生物学	1・2・3・4 後	2								1
	人間工学	1・2・3・4 後	2								1
	物理学	1・2・3・4 前	2								1
	地球科学	1・2・3・4 後	2								1
	数学	1・2・3・4 前	2			1					1
小計 (5科目)	—	—	0	10	0	1	0	0	0	0	兼4
外国語	ドイツ語 I	1・2 前	1								1
	ドイツ語 II	1・2 後	1								1
	フランス語 I	1・2 前	1			1					
	フランス語 II	1・2 後	1			1					
	中国語 I	1・2 前	1				1				
	中国語 II	1・2 後	1				1				
小計 (6科目)	—	—	0	6	0	1	1	0	0	0	兼1
総合	グローバル社会を生きる	1 前	2								2
小計 (1科目)	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
スポーツ健康	スポーツ実技 I	1 前	1			1					
	スポーツ実技 II	1 後	1			1					
	健康づくり運動論	2・3・4 前	2			1					
	小計 (3科目)	—	—	0	4	0	0	1	0	0	0
情報	情報機器の操作 I	1 前	2								2
	情報機器の操作 II	1 後	2								2
	情報処理概論	1 後	2								1
	小計 (3科目)	—	—	2	4	0	0	0	0	0	0

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
英語教育の専門科目	英語学概論	1 後	2								1
	英文法	2 前	2								1
	イギリスの文学A	1 前	2		1						
	イギリスの文学B	1 後	2		1						
	アメリカの文学A	1 前	2								1
	アメリカの文学B	1 後	2								1
	英語コミュニケーションA	2 前	2				1				
	英語コミュニケーションB	2 後	2								1
	総合英語 I	2 前	2		1						
	総合英語 II	2 後	2		1						
	ヨーロッパの生活と文化A	1 前	2		1						
	ヨーロッパの生活と文化B	1 前	2								1
	イギリスの生活と文化	1 後	2		1						
	アメリカの生活と文化	1 前	2		2						1
小計 (14科目)	—	0	28	0	2	0	1	0	0	0	兼4
国語教育の専門科目	国語学概論	1 後	2		1						
	日本語の表現	2 前	2		1						
	日本語文章法	2 後	2		1						
	日本語のレトリック	2 前	2		1						
	国文学史A	1 前	2		1						
	国文学史B	1 後	2		1						
	日本の古典文学A	2 前	2		1						
	日本の古典文学B	2 後	2		1						
	日本の近代文学A	2 前	2		1						
	日本の近代文学B	2 後	2		1						
	中国の文学	2 前	2				1				
	漢文学 I	2 前	2				1				
	漢文学 II	2 後	2				1				
	書道	1 後	2		1						
小計 (14科目)	—	0	28	0	2	1	0	0	0	0	兼0
初等教育	初等教育法(国語)	2-3 前	2			1					
	初等教育法(社会)	2-3 後	2			1					
	初等教育法(算数)	2-3 後	2			1					
	初等教育法(理科)	2-3 後	2				1				
	初等教育法(生活)	2-3 前	2				1				
	初等教育法(音楽)	2-3 後	2			1					
	初等教育法(図画工作)	2-3 前	2								1
	初等教育法(家庭)	2-3 後	2								1
	初等教育法(体育)	2-3 後	2		1						
	初等教育法(外国語活動)	2-3 後	2								1
	教職研究I(教職実務I)[小]	2 前	2		1		1				
	教職研究II(教職実務II)[小]	2 後	2		1		1				
	教育実習I[小]	4 通	2		2	2	2				
	教育実習II[小]	4 通	2		2	2	2				
	教育実習事前事後指導[小]	4 通	1		2	2	2				
	教職実践演習[小]	4 後	2			2					
小計 (16科目)	—	0	31	0	5	3	2	0	0	0	兼3
中学校・高等学校	英語科教育法 I	2 前	2								1
	英語科教育法 II	2 後	2								1
	英語科教育法 III	3 前	2								1
	英語科教育法 IV	3 後	2								1
	国語科教育法 I	2 前	2								1
	国語科教育法 II	2 後	2								1
	国語科教育法 III	3 前	2								1
	国語科教育法 IV	3 後	2								1
	教職研究 I(教職実務 I)[中・高]	2 前	2		1	1					
	教職研究 II(教職実務 II)[中・高]	2 後	2		1	1					
	教育実習 I [中・高]	4 通	2		2	3					
	教育実習 II [中]	4 通	2		3						
	教育実習事前事後指導 [中・高]	4 通	1		3						
	教職実践演習 [中・高]	4 後	2		2						
小計 (14科目)	—	0	27	0	4	1	0	0	0	0	兼2
共通	教職研究 III(学校教育の今日的課題 I)	3 前	2		1						
	教職研究 IV(学校教育の今日的課題 II)	3 後	2								1
	教職研究 V(学校教育の今日的課題 III)	4 前	2								1
	小計 (3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0	0

【令和元年度】※平成29～30年度入学者

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
英語教育の専門科目	英語学概論	1 後	2								1
	英文法	2 後	2								1
	イギリスの文学A	1 前	2		1						
	イギリスの文学B	1 後	2		1						
	アメリカの文学A	1 前	2								1
	アメリカの文学B	1 後	2								1
	英語コミュニケーションA	2 前	2				1				
	英語コミュニケーションB	2 後	2								1
	総合英語 I	2 前	2		1						
	総合英語 II	2 後	2		1						
	ヨーロッパの生活と文化A	1 前	2		1						
	ヨーロッパの生活と文化B	1 後	2								1
	イギリスの生活と文化	1 後	2		1						
	アメリカの生活と文化	1 前	2		2						1
小計 (14科目)	—	0	28	0	2	0	1	0	0	0	兼4
国語教育の専門科目	国語学概論	1 後	2		1						
	日本語の表現	2 前	2		1						
	日本語文章法	2 後	2		1						
	日本語のレトリック	2 前	2		1						
	国文学史A	1 前	2		1						
	国文学史B	1 後	2		1						
	日本の古典文学A	2 前	2		1						
	日本の古典文学B	2 後	2		1						
	日本の近代文学A	2 前	2		1						
	日本の近代文学B	2 後	2		1						
	中国の文学	2 前	2				1				
	漢文学 I	2 前	2				1				
	漢文学 II	2 後	2				1				
	書道	1 後	2		1						
小計 (14科目)	—	0	28	0	2	1	0	0	0	0	兼0
初等教育	初等教育法(国語)	2-3 前	2			1					
	初等教育法(社会)	2-3 後	2			1					
	初等教育法(算数)	2-3 後	2			1					
	初等教育法(理科)	2-3 後	2				1				
	初等教育法(生活)	2-3 前	2				1				
	初等教育法(音楽)	2-3 後	2			1					
	初等教育法(図画工作)	2-3 前	2								1
	初等教育法(家庭)	2-3 後	2								1
	初等教育法(体育)	2-3 後	2		1						
	初等教育法(外国語活動)	2-3 後	2								1
	教職研究I(教職実務I)[小]	2 前	2		1		1				
	教職研究II(教職実務II)[小]	2 後	2		1		1				
	教育実習I[小]	4 通	2		2	2	2				
	教育実習II[小]	4 通	2		2	2	2				
	教育実習事前事後指導[小]	4 通	1		2	2	2				
	教職実践演習[小]	4 後	2			2					
小計 (16科目)	—	0	31	0	5	3	2	0	0	0	兼3
中学校・高等学校	英語科教育法 I	2 前	2								1
	英語科教育法 II	2 後	2								1
	英語科教育法 III	3 前	2								1
	英語科教育法 IV	3 後	2								1
	国語科教育法 I	2 前	2								1
	国語科教育法 II	2 後	2								1
	国語科教育法 III	3 前	2								1
	国語科教育法 IV	3 後	2								1
	教職研究 I(教職実務 I)[中・高]	2 前	2		1	1					
	教職研究 II(教職実務 II)[中・高]	2 後	2		1	1					
	教育実習 I [中・高]	4 通	2		2	3					
	教育実習 II [中]	4 通	2		3						
	教育実習事前事後指導 [中・高]	4 通	1		3						
	教職実践演習 [中・高]	4 後	2		2						
小計 (14科目)	—	0	27	0	4	1	0	0	0	0	兼2
共通	教職研究 III(学校教育の今日的課題 I)	3 前	2		1						
	教職研究 IV(学校教育の今日的課題 II)	3 後	2								1
	教職研究 V(学校教育の今日的課題 III)	4 前	2								1
	小計 (3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0	0

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ゼミナールⅠ	1通	2			2	2					
	ゼミナールⅡ	2通	2			3	2					
	ゼミナールⅢ	3通	4			8	2	2				
	ゼミナールⅣ	4通	4			8	2	2				
	小計(4科目)	—	12	0	0	10	4	2	0	0	0	兼0
合計(173科目)			—	26	296	0	12	5	3	0	0	兼39
卒業要件及び履修方法												
<p><初等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論[小]』『教職論[小]』『教育行政学[小]』『教育課程論[小]』『教育方法論[小]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程[小]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法[小]』『特別活動の理論と方法[小]』『生徒指導論[小]』『学級経営論[小]』『進路指導論[小]』『教育相談[小]』の6科目10単位修得。 ⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究(書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究』『理科教育研究』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究』『音楽科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。 ⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法(国語)』『初等教育教育法(社会)』『初等教育教育法(算数)』『初等教育教育法(理科)』『初等教育教育法(生活)』『初等教育教育法(音楽)』『初等教育教育法(図画工作)』『初等教育教育法(家庭)』『初等教育教育法(体育)』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[小]』の10科目20単位修得。</p> <p><中等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論[中・高]』『教職論[中・高]』『教育行政学[中・高]』『教育課程論[中・高]』『教育方法論[中・高]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程[中・高]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法[中]』『特別活動の理論と方法[中・高]』『生徒指導論[中・高]』『学級経営論[中・高]』『進路指導論[中・高]』『教育相談[中・高]』の6科目10単位修得。 ⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文化』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。 国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文章法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。 ⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]』の3科目6単位修得。 国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]』の3科目6単位修得。</p> <p>(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))</p>												

【令和元年度】※平成29～30年度入学者

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2					
	ゼミナールⅡ	2通	2			3	2					
	ゼミナールⅢ	3通	4			8	2	2				
	ゼミナールⅣ	4通	4			8	2	2				
	小計(4科目)	—	12	0	0	10	4	2	0	0	0	兼0
合計(173科目)			—	26	296	0	12	5	3	0	0	兼43
卒業要件及び履修方法												
<p><初等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論[小]』『教職論[小]』『教育行政学[小]』『教育課程論[小]』『教育方法論[小]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程[小]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法[小]』『特別活動の理論と方法[小]』『生徒指導論[小]』『学級経営論[小]』『進路指導論[小]』『教育相談[小]』の6科目10単位修得。 ⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究(書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究』『理科教育研究』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究』『音楽科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。 ⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法(国語)』『初等教育教育法(社会)』『初等教育教育法(算数)』『初等教育教育法(理科)』『初等教育教育法(生活)』『初等教育教育法(音楽)』『初等教育教育法(図画工作)』『初等教育教育法(家庭)』『初等教育教育法(体育)』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[小]』の10科目20単位修得。</p> <p><中等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論[中・高]』『教職論[中・高]』『教育行政学[中・高]』『教育課程論[中・高]』『教育方法論[中・高]』の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程[中・高]』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法[中]』『特別活動の理論と方法[中・高]』『生徒指導論[中・高]』『学級経営論[中・高]』『進路指導論[中・高]』『教育相談[中・高]』の6科目10単位修得。 ⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文化』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。 国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文章法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。 ⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]』の3科目6単位修得。 国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]』の3科目6単位修得。</p> <p>(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))</p>												

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	英語	英語A I	1前	1					1				3
		英語A II	1後	1					1				3
		英語B I	1前	1					1				3
		英語B II	1後	1					1				3
		英語C I	1前	1					1				3
		英語C II	1後	1					1				3
		英語D I	1前	1					1				3
		英語D II	1後	1					1				3
		英語E I	2前	1					1				3
		英語E II	2後	1					1				3
		英語F I	2・3・4前	1					1				
		英語F II	2・3・4後	1					1				
		英語G I	2・3・4前	1					1				
		英語G II	2・3・4後	1					1				
	小計 (14科目)	—	10	4	0	0	0	1	0	0		兼5	
	論理的思考 ／ 表現的思考	論理的思考法	1前	2									1
		論理的表現法	1後	2									1
		プレゼンテーションA (日本語)	1後	2									1
		プレゼンテーションB (English)	2・3・4前	2									1
	小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
	人文科学	哲学	1・2・3・4前	2									1
		倫理学	1・2・3・4前	2									1
		宗教学	1・2・3・4後	2									1
		心理学概論	1・2・3・4前	2			1						
		芸術学	1・2・3・4前	2									1
		日本文学史	1・2・3・4前	2			1						
		史学概論	1・2・3・4前	2									1
		小計 (7科目)	—	0	14	0	2	0	0	0	0	0	兼3
社会科学	憲法	1・2前	2									1	
	法学	1・2・3・4後	2									1	
	政治学	1・2・3・4前	2									1	
	経済学	1・2・3・4前	2									1	
	経営学	1・2・3・4後	2									1	
	社会学	1・2・3・4後	2									1	
	小計 (6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼5	
自然科学	生物学	1・2・3・4後	2									1	
	人間工学	1・2・3・4後	2									1	
	物理学	1・2・3・4前	2									1	
	地球科学	1・2・3・4後	2									1	
	数学	1・2・3・4前	2			1							
小計 (5科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0	0	兼2		
外国語	ドイツ語 I	1・2前	1									1	
	ドイツ語 II	1・2後	1									1	
	フランス語 I	1・2前	1			1							
	フランス語 II	1・2後	1			1							
	中国語 I	1・2前	1				1						
	中国語 II	1・2後	1				1						
小計 (6科目)	—	0	6	0	1	1	0	0	0	0	兼1		
総合	グローバル社会を生きる	1前	2									2	
小計 (1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2		
スポーツ健康	スポーツ実技 I	1前	1			1							
	スポーツ実技 II	1後	1			1							
	健康づくり運動論	2・3・4前	2			1							
	小計 (3科目)	—	0	4	0	0	1	0	0	0	0	兼0	
情報	情報機器の操作 I	1前	2									2	
	情報機器の操作 II	1後	2									2	
	情報処理概論	1前	2									1	
	小計 (3科目)	—	2	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2	

【令和元年度】※令和元年度入学者 (教職再課程認定による授業科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	英語	英語A I	1前	1					1				3
		英語A II	1後	1					1				3
		英語B I	1前	1					1				3
		英語B II	1後	1					1				3
		英語C I	1前	1					1				3
		英語C II	1後	1					1				3
		英語D I	1前	1					1				3
		英語D II	1後	1					1				3
		英語E I	2前	1					1				3
		英語E II	2後	1					1				3
		英語F I	2・3・4前	1					1				
		英語F II	2・3・4後	1					1				
		英語G I	2・3・4前	1					1				1
		英語G II	2・3・4後	1					1				1
	小計 (14科目)	—	10	4	0	0	0	1	0	0	0	兼8	
	論理的思考 ／ 表現的思考	論理的思考法	1前	2									1
		論理的表現法	1後	2									1
		プレゼンテーションA (日本語)	1後	2									1
		プレゼンテーションB (English)	2・3・4前	2									1
	小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
	人文科学	哲学	1・2・3・4前	2									2
		倫理学	1・2・3・4前	2									2
		宗教学	1・2・3・4後	2									1
		心理学概論	1・2・3・4前	2			1						
		芸術学	1・2・3・4前	2									1
		日本文学史	1・2・3・4前	2			1						
		史学概論	1・2・3・4前	2									1
		小計 (7科目)	—	0	14	0	2	0	0	0	0	0	兼4
社会科学	憲法	1・2前	2									2	
	法学	1・2・3・4後	2									1	
	政治学	1・2・3・4前	2									1	
	経済学	1・2・3・4前	2									1	
	経営学	1・2・3・4後	2									1	
	社会学	1・2・3・4後	2									2	
	小計 (6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼6	
自然科学	生物学	1・2・3・4後	2									1	
	人間工学	1・2・3・4後	2									1	
	物理学	1・2・3・4前	2									1	
	地球科学	1・2・3・4後	2									1	
	数学	1・2・3・4前	2			1							
小計 (5科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0	0	兼4		
外国語	ドイツ語 I	1・2前	1									1	
	ドイツ語 II	1・2後	1									1	
	フランス語 I	1・2前	1			1							
	フランス語 II	1・2後	1			1							
	中国語 I	1・2前	1				1						
	中国語 II	1・2後	1				1						
小計 (6科目)	—	0	6	0	1	1	0	0	0	0	兼1		
総合	グローバル社会を生きる	1前	2									2	
小計 (1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2		
スポーツ健康	スポーツ実技 I	1前	1			1							
	スポーツ実技 II	1後	1			1							
	健康づくり運動論	2・3・4前	2			1							
	小計 (3科目)	—	0	4	0	0	1	0	0	0	0	兼0	
情報	情報機器の操作 I	1前	2									2	
	情報機器の操作 II	1後	2									2	
	情報処理概論	1後	2									1	
	小計 (3科目)	—	2	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教育の基礎	教育学概論【小】	1前	2			1							
	教育学概論【中・高】	1前	2			1							
	教職論【小】	1前	2			1							
	教職論【中・高】	1前	2			1							
	教育行政学【小】	1後	2			1							
	教育行政学【中・高】	1後	2			1							
	教育課程論【小】	1後	2								1		
	教育課程論【中・高】	1後	2								1		
	教育方法論【小】	2前	2								1		
	教育方法論【中・高】	2前	2								1		
	教育法規【小】	2前	2			1							
	教育法規【中・高】	2前	2			1							
	教育時事問題	3前	2				1						
	青少年と国際教育	3前	2								1		
	小計(14科目)	—	0	28	0	1	1	0	0	0	0	兼2	
	教育を支える心理学	心身の発達と学習過程【小】	1後	2			1						
		心身の発達と学習過程【中・高】	1後	2			1						
教育心理学		1後	2			1							
発達心理学		1後	2			1							
青年心理学		1前	2			1							
社会心理学		1後	2			1							
学校心理学		2前	2			1							
発達支援論		2前	2			1							
障がい児・者の心理学		2前	2			1							
家族心理学		2後	2			1							
臨床心理学		2前	2			1							
パーソナリティ心理学		2前	2								1		
健康心理学		2後	2			1							
小計(13科目)	—	0	26	0	3	0	0	0	0	0	兼1		
教育者としての専門性	道徳教育の理論と方法【小】	2前	2			1							
	道徳教育の理論と方法【中】	2前	2			1							
	総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)【小】	2後	2							1			
	総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)【中・高】	2後	2							1			
	特別活動の理論と方法【小】	2後	2								1		
	特別活動の理論と方法【中・高】	2後	2								1		
	生徒指導論(教育課程論を含む)【小】	2前	2							1		1	
	生徒指導論(教育課程論を含む)【中・高】	2前	2							1		1	
	教育相談と進路指導【小】	3後	2							2			
	教育相談と進路指導【中・高】	3後	2							2			
	進路指導論【小】	2後	1								1		
	進路指導論【中・高】	2後	1								1		
	教育相談【小】	3前	2			1							
	教育相談【中・高】	3後	2			1							
	教育における調査と統計	3後	2			1							
	国際バカロレア教育研究	3後	2								1		
	ICTを活用した授業実践研究A	2前	2								1		
ICTを活用した授業実践研究B	2後	2								1			
青少年と情報メディア	3後	2								1			
小計(17科目)	—	0	30	0	2	1	0	0	0	0	兼7		

【令和元年度】※令和元年度入学者(教職再課程認定による授業科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教育の基礎	教育学概論【小】	1前	2			1							
	教育学概論【中・高】	1前	2			1							
	教職論【小】	1前	2			1							
	教職論【中・高】	1前	2			1							
	教育行政学【小】	1後	2			1							
	教育行政学【中・高】	1後	2			1							
	教育課程論【小】	1後	2								1		
	教育課程論【中・高】	1後	2								1		
	教育方法論【小】	2前	2								1		
	教育方法論【中・高】	2前	2								1		
	特別な教育的ニーズの理解とその支援【小】	3前	2							1			
	特別な教育的ニーズの理解とその支援【中・高】	3前	2							1			
	教育時事問題	3前	2							1			
	青少年と国際教育	3前	2								1		
	小計(12科目)	—	0	24	0	2	1	1	0	0	0	兼1	
	教育を支える心理学	心身の発達と学習過程【小】	1後	2			1						
		心身の発達と学習過程【中・高】	1後	2			1						
教育心理学		1後	2			1							
発達心理学		1後	2			1							
青年心理学		1前	2			1							
社会心理学		1後	2			1							
学校心理学		2前	2			1							
発達支援論		2前	2			1							
障がい児・者の心理学		2前	2			1							
家族心理学		2後	2			1							
臨床心理学		2前	2			1							
パーソナリティ心理学		2前	2								1		
健康心理学		2後	2			1							
小計(13科目)	—	0	26	0	3	0	0	0	0	0	兼1		
教育者としての専門性	道徳教育の理論と方法【小】	2前	2			1							
	道徳教育の理論と方法【中】	2前	2			1							
	総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)【小】	2後	2							1			
	総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)【中・高】	2後	2							1			
	特別活動の理論と方法【小】	2後	2								1		
	特別活動の理論と方法【中・高】	2後	2								1		
	生徒指導論(教育課程論を含む)【小】	2前	2							1		1	
	生徒指導論(教育課程論を含む)【中・高】	2前	2							1		1	
	教育相談と進路指導【小】	3後	2							2			
	教育相談と進路指導【中・高】	3後	2							2			
	進路指導論【小】	2後	1								1		
	進路指導論【中・高】	2後	1								1		
	教育相談【小】	3前	2			1							
	教育相談【中・高】	3後	2			1							
	教育における調査と統計	3後	2			1							
	国際バカロレア教育研究	3後	2								1		
	ICTを活用した授業実践研究A	2前	2								1		
ICTを活用した授業実践研究B	2後	2								1			
青少年と情報メディア	3後	2								1			
小計(15科目)	—	0	30	0	4	1	1	0	0	0	兼5		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
児童教育の専門科目	国語科教育研究（書写を含む）	1 前	2			1						
	社会科教育研究	1 前	2			1						
	算数科教育研究 I	1 前	2			1						
	算数科教育研究 II	1 後	2			1						
	理科教育研究 I	2 前	2					1				
	理科教育研究 II	2 後	2					1				
	生活科教育研究	1 前	2					1				
	音楽科教育研究 I	1 前	2			1						
	音楽科教育研究 II	1 後	2			1						
	図画工作科教育研究 I	1 前	2								1	
	図画工作科教育研究 II	1 後	2								1	
	家庭科教育研究	2 後	2								1	
	体育科教育研究 I	1 前	2			1						
	体育科教育研究 II	1 後	2			1						
	外国語活動研究	2 前	2								1	
小計（15科目）	—	0	30	0	3	2	2	0	0	0	兼3	
英語教育の専門科目	英語学概論	1 後	2									1
	英文法	2 前	2									1
	イギリスの文学 A	1 前	2		1							
	イギリスの文学 B	1 後	2		1							
	アメリカの文学 A	1 前	2								1	
	アメリカの文学 B	1 後	2								1	
	英語コミュニケーション A	2 前	2				1					
	英語コミュニケーション B	2 後	2									1
	総合英語 I	2 前	2		1							
	総合英語 II	2 後	2		1							
	ヨーロッパの生活と文化 A	1 前	2		1							
	ヨーロッパの生活と文化 B	1 前	2									1
	イギリスの生活と文化	1 後	2		1							
	アメリカの生活と文化	1 前	2									1
	小計（14科目）	—	0	28	0	2	0	1	0	0	0	兼4
国語教育の専門科目	国語学概論	1 後	2		1							
	日本語の表現	2 前	2		1							
	日本語文章法	2 後	2		1							
	日本語のレトリック	2 前	2		1							
	国文学史 A	1 前	2		1							
	国文学史 B	1 後	2		1							
	日本の古典文学 A	2 前	2		1							
	日本の古典文学 B	2 後	2		1							
	日本の近代文学 A	2 前	2		1							
	日本の近代文学 B	2 後	2		1							
	中国の文学	2 前	2			1						
	漢文学 I	2 前	2			1						
	漢文学 II	2 後	2			1						
	書道	1 後	2		1							
小計（14科目）	—	0	28	0	2	1	0	0	0	0	兼0	

【令和元年度】※令和元年度入学者（教職再課程認定による授業科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
児童教育の専門科目	国語科教育研究（書写を含む）	1 前	2			1						
	社会科教育研究	1 前	2			1						
	算数科教育研究	1 前	2			1						
	理科教育研究	2 前	2					1				
	生活科教育研究	1 前	2					1				
	音楽科教育研究	1 前	2			1						
	図画工作科教育研究	1 前	2									1
	家庭科教育研究	2 後	2									1
	体育科教育研究	1 前	2					1				
	英語科教育研究	2 前	2					1				
	教科教育研究 A	2 前	1			2	1	2				
	教科教育研究 B	2 後	1			1	1	2				2
小計（12科目）	—	0	22	0	3	2	2	0	0	0	兼2	
英語教育の専門科目	英語学概論	1 後	2									1
	英文法	2 後	2									1
	英語文学 A	1 前	2		1							
	英語文学 B	1 後	2									1
	イギリスの文学	1 前	2		1							
	アメリカの文学	1 前	2									1
	Reading A	2 前	1									1
	Reading B	2 後	1									1
	Writing A	2 前	1									1
	Writing B	2 後	1									1
	Listening A	2 前	1					1				
	Listening B	2 後	1					1				
	Speaking A	2 前	1					1				
	Speaking B	2 後	1					1				
	異文化の理解に向けて	1 前	2		1							
	英語圏の国々の歴史と文化	1 後	2		1							
	ヨーロッパの生活と文化 A	1 前	2		1							
	ヨーロッパの生活と文化 B	1 後	2									1
	イギリスの生活と文化	1 後	2		1							
	アメリカの生活と文化	1 前	2									1
小計（20科目）	—	0	32	0	2	0	1	0	0	0	兼4	
国語教育の専門科目	国語学概論	1 後	2		1							
	日本語の表現	2 前	2		1							
	日本語文章法	2 後	2		1							
	日本語のレトリック	2 前	2		1							
	国文学史 A	1 前	2		1							
	国文学史 B	1 後	2		1							
	日本の古典文学 A	2 前	2		1							
	日本の古典文学 B	2 後	2		1							
	日本の近代文学 A	2 前	2		1							
	日本の近代文学 B	2 後	2		1							
	中国の文学	2 前	2			1						
	漢文学 I	2 前	2			1						
	漢文学 II	2 後	2			1						
	書道	1 後	2		1							
小計（14科目）	—	0	28	0	2	1	0	0	0	0	兼0	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	小学校	初等教育教育法（国語）	2・3 前	2			1						
		初等教育教育法（社会）	2・3 後	2			1						
		初等教育教育法（算数）	2・3 後	2			1						
		初等教育教育法（理科）	2・3 後	2					1				
		初等教育教育法（生活）	2・3 前	2						1			
		初等教育教育法（音楽）	2・3 後	2			1						
		初等教育教育法（図画工作）	2・3 前	2								1	
		初等教育教育法（家庭）	2・3 後	2								1	
		初等教育教育法（体育）	2・3 後	2			1						
		初等教育教育法（外国語活動）	2・3 後	2									1
		教職研究Ⅰ（教職実務Ⅰ）【小】	2 前	2			1		1				
		教職研究Ⅱ（教職実務Ⅱ）【小】	2 後	2			1		1				
		教育実習Ⅰ【小】	4 通	2			2	2	2				
		教育実習Ⅱ【小】	4 通	2			2	2	2				
		教育実習事前事後指導【小】	4 通	1			2	2	2				
		教職実践演習【小】	4 後	2			2						
	小計（16科目）	—	0	31	0	5	3	2	0	0		兼3	
	中学校・高等学校	英語科教育法Ⅰ	2 前	2									1
		英語科教育法Ⅱ	2 後	2									1
		英語科教育法Ⅲ	3 前	2									1
		英語科教育法Ⅳ	3 後	2									1
		国語科教育法Ⅰ	2 前	2									1
		国語科教育法Ⅱ	2 後	2									1
		国語科教育法Ⅲ	3 前	2									1
		国語科教育法Ⅳ	3 後	2									1
		教職研究Ⅰ（教職実務Ⅰ）【中・高】	2 前	2			1	1					
		教職研究Ⅱ（教職実務Ⅱ）【中・高】	2 後	2			1	1					
		教育実習Ⅰ【中・高】	4 通	2			3						
		教育実習Ⅱ【中】	4 通	2			3						
		教育実習事前事後指導【中・高】	4 通	1			3						
		教職実践演習【中・高】	4 後	2			2						
		小計（14科目）	—	0	27	0	4	1	0	0	0		兼2
		共通	教職研究Ⅲ（学校教育の今日的課題Ⅰ）	3 前		2		1					
教職研究Ⅳ（学校教育の今日的課題Ⅱ）	3 後			2								1	
教職研究Ⅴ（学校教育の今日的課題Ⅲ）	4 前			2								1	
小計（3科目）	—	0	6	0	1	0	0	0	0		兼2		
ゼミナール	ゼミナールⅠ	1 通	2			3	2						
	ゼミナールⅡ	2 通	2			3	2						
	ゼミナールⅢ	3 通	4			8	2	2					
	ゼミナールⅣ	4 通	4			8	2	2					
	小計（4科目）	—	12	0	0	10	4	2	0	0		兼0	
合計（173科目）	—	26	296	0	12	5	3	0	0		兼39		

【令和元年度】※令和元年度入学者（教職再課程認定による授業科目）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	小学校	初等 教科 教育法（国語）	2・3 前	2			1						
		初等 教科 教育法（社会）	2・3 後	2			1						
		初等 教科 教育法（算数）	2・3 後	2			1						
		初等 教科 教育法（理科）	2・3 後	2					1				
		初等 教科 教育法（生活）	2・3 前	2						1			
		初等 教科 教育法（音楽）	2・3 後	2			1						
		初等 教科 教育法（図画工作）	2・3 前	2								1	
		初等 教科 教育法（家庭）	2・3 後	2								1	
		初等 教科 教育法（体育）	2・3 後	2							1		
		初等 教科 教育法（英語）	2・3 後	2									1
		教育実習Ⅰ【小】	4 通	2			2	2	2				
		教育実習Ⅱ【小】	4 通	2			2	2	2				
		教育実習事前事後指導【小】	4 通	1			2	2	2				
		教職実践演習【小】	4 後	2			2						
	小計（14科目）	—	0	27	0	5	4	2	0	0		兼2	
	中学校・高等学校	英語科教育法Ⅰ	2 前	2			1						
		英語科教育法Ⅱ	2 後	2			1						
		英語科教育法Ⅲ	3 前	2			1						
		英語科教育法Ⅳ	3 後	2			1						
		国語科教育法Ⅰ	2 前	2			1	2					
		国語科教育法Ⅱ	2 後	2			1	2					
国語科教育法Ⅲ		3 前	2			1	2						
教育実習Ⅰ【中・高】	4 通	2			3								
教育実習Ⅱ【中】	4 通	2			3								
教育実習事前事後指導【中・高】	4 通	1			3								
教職実践演習【中・高】	4 後	2			2			1					
小計（12科目）	—	0	23	0	7	3	0	0	0		兼0		
ゼミナール	ゼミナールⅠ	1 通	2			3	2						
	ゼミナールⅡ	2 通	2			3	2						
	ゼミナールⅢ	3 通	4			7	2	2					
	ゼミナールⅣ	4 通	4			7	2	2					
	小計（4科目）	—	12	0	0	9	4	2	0	0		兼0	
合計（165科目）	—	26	274	0	11	5	3	0	0		兼35		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必	選	自	教	准	講	助	助	
卒業要件及び履修方法											
<p><初等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から「教育学概論[小]」「教職論[小]」「教育行政学[小]」「教育課程論[小]」「教育方法論[小]」の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から「心身の発達と学習過程[小]」2単位及び「教育心理学」「発達心理学」「学校心理学」「発達支援論」「障がい児・者の心理学」の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から「道徳教育の理論と方法[小]」「特別活動の理論と方法[小]」「生徒指導論[小]」「学級経営論[小]」「進路指導論[小]」「教育相談[小]」の6科目10単位修得。 ⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から「国語科教育研究(書写を含む)」「社会科教育研究」「算数科教育研究」「理科教育研究」の4科目8単位及び「生活科教育研究」「音楽科教育研究」「音楽科教育研究Ⅱ」「図画工作科教育研究Ⅰ」「図画工作科教育研究Ⅱ」「家庭科教育研究」「体育科教育研究Ⅰ」「体育科教育研究Ⅱ」の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、「音楽科教育研究Ⅰ」「音楽科教育研究Ⅱ」「図画工作科教育研究Ⅰ」「図画工作科教育研究Ⅱ」「体育科教育研究Ⅰ」「体育科教育研究Ⅱ」から2教科2科目4単位以上含む)修得。 ⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から「初等教育教育法(国語)」「初等教育教育法(社会)」「初等教育教育法(算数)」「初等教育教育法(理科)」「初等教育教育法(生活)」「初等教育教育法(音楽)」「初等教育教育法(図画工作)」「初等教育教育法(家庭)」「初等教育教育法(体育)」「教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[小]」の10科目20単位修得。</p> <p><中等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から「教育学概論[中・高]」「教職論[中・高]」「教育行政学[中・高]」「教育課程論[中・高]」「教育方法論[中・高]」の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から「心身の発達と学習過程[中・高]」2単位及び「教育心理学」「発達心理学」「学校心理学」「発達支援論」「障がい児・者の心理学」の5科目の中から4単位以上修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から「道徳教育の理論と方法[中]」「特別活動の理論と方法[中・高]」「生徒指導論[中・高]」「学級経営論[中・高]」「進路指導論[中・高]」「教育相談[中・高]」の6科目10単位修得。 ⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から「英語学概論」「英文化」「イギリスの文学A」「アメリカの文学A」「英語コミュニケーションA」「総合英語Ⅰ」「ヨーロッパの生活と文化A」の7科目14単位及びその他6単位以上修得。 国語コースの場合は、「国語教育の専門科目」から「国語学概論」「日本語の表現」「日本語文法」「日本の古典文学A」「日本の近代文学A」「漢文学Ⅰ」「書道」の7科目14単位、「国文学史A」又は「国文学史B」のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。 ⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]」の3科目6単位修得。 国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から「国語科教育法Ⅰ」「国語科教育法Ⅱ」「教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)[中・高]」の3科目6単位修得。</p> <p>(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))</p>											

【令和元年度】※令和元年度入学者(教職再課程認定による授業科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必	選	自	教	准	講	助	助	
卒業要件及び履修方法											
<p><初等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から「教育学概論[小]」「教職論[小]」「教育行政学[小]」「教育課程論[小]」「教育方法論[小]」の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から「心身の発達と学習過程[小]」の2単位修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から「道徳教育の理論と方法[小]」「総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)[小]」「特別活動の理論と方法[小]」「生徒指導論(教育課程論を含む)[小]」「教育相談と進路指導[小]」の5科目10単位修得。 ⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から「国語科教育研究(書写を含む)」「社会科教育研究」「算数科教育研究」「理科教育研究」「生活科教育研究」「音楽科教育研究」「図画工作科教育研究」「家庭科教育研究」「体育科教育研究」「英語科教育研究」「教科教育研究A」「教科教育研究B」の12科目22単位修得。 ⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から「初等教育教育法(国語)」「初等教育教育法(社会)」「初等教育教育法(算数)」「初等教育教育法(理科)」「初等教育教育法(生活)」「初等教育教育法(音楽)」「初等教育教育法(図画工作)」「初等教育教育法(家庭)」「初等教育教育法(体育)」「初等教育教育法(英語)」の10科目20単位修得。</p> <p><中等教育専攻> 必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。 ① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。 ② 専門科目『教育の基礎』から「教育学概論[中・高]」「教職論[中・高]」「教育行政学[中・高]」「教育課程論[中・高]」「教育方法論[中・高]」「特別な教育的ニーズの理解とその支援[中・高]」の5科目10単位修得。 ③ 専門科目『教育を支える心理学』から「心身の発達と学習過程[中・高]」の2単位修得。 ④ 専門科目『教育者としての専門性』から「道徳教育の理論と方法[中]」「生徒指導論(教育課程論を含む)[中・高]」「教育相談と進路指導[中・高]」の5科目10単位修得。 ⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から「英語学概論」「英文化」「英語文学A」「英語文学B」「Reading A」「Reading B」「Writing A」「Writing B」「Listening A」「Listening B」「Speaking A」「Speaking B」「異文化の理解に向けて」「英語圏の国々の歴史と文化」の14科目20単位修得。 国語コースの場合は、「国語教育の専門科目」から「国語学概論」「日本語の表現」「日本語文法」「国文学史A」「国文学史B」「日本の古典文学A」「日本の近代文学A」「漢文学Ⅰ」「漢文学Ⅱ」「書道」の11科目22単位修得。 ⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅲ」「英語科教育法Ⅳ」の4科目8単位修得。 国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から「国語科教育法Ⅰ」「国語科教育法Ⅱ」「国語科教育法Ⅲ」「国語科教育法Ⅳ」の4科目8単位修得。 ⑦ 英語コースの場合は、「イギリスの文学」「アメリカの文学」「イギリスの生活と文化」「アメリカの生活と文化」「ヨーロッパの生活と文化A」「ヨーロッパの生活と文化B」「教育時事問題」「青少年と国際教育」「教育における調査と統計」「国際バカロレア教育研究」「ICTを活用した授業実践研究A」「ICTを活用した授業実践研究B」「青少年と情報メディア」の13科目の中から6単位以上修得。 国語コースの場合は、「日本語のレトリック」「日本の古典文学B」「日本の近代文学B」「教育時事問題」「青少年と国際教育」「教育における調査と統計」「国際バカロレア教育研究」「ICTを活用した授業実践研究A」「ICTを活用した授業実践研究B」「青少年と情報メディア」の10科目の中から6単位以上修得。</p> <p>(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語	英語AⅠ	1前	1				1					3
	英語AⅡ	1後	1				1					3
	英語BⅠ	1前	1				1					3
	英語BⅡ	1後	1				1					3
	英語CⅠ	1前	1				1					3
	英語CⅡ	1後	1				1					3
	英語DⅠ	1前	1				1					3
	英語DⅡ	1後	1				1					3
	英語EⅠ	2前	1				1					3
	英語EⅡ	2後	1				1					3
	英語FⅠ	2・3・4前		1				1				
	英語FⅡ	2・3・4後		1				1				
	英語GⅠ	2・3・4前		1				1				
	英語GⅡ	2・3・4後		1				1				
	小計(14科目)	—	—	10	4	0	0	0	1	0	0	0
論理的思考	論理的思考法	1前		2								1
	論理的表現法	1後		2								1
	プレゼンテーションA (日本語)	1後		2								1
	プレゼンテーションB (English)	2・3・4前		2								1
小計(4科目)	—	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼2
人文科学	哲学	1・2・3・4前		2								1
	倫理学	1・2・3・4前		2								1
	宗教学	1・2・3・4後		2								1
	心理学概論	1・2・3・4前		2		1						1
	芸術学	1・2・3・4前		2								1
	日本文学史	1・2・3・4前		2		1						1
	史学概論	1・2・3・4前		2								1
小計(7科目)	—	—	0	14	0	2	0	0	0	0	0	兼3
社会科学	憲法	1・2前		2								1
	法学	1・2・3・4後		2								1
	政治学	1・2・3・4前		2								1
	経済学	1・2・3・4前		2								1
	経営学	1・2・3・4後		2								1
	社会学	1・2・3・4後		2								1
小計(6科目)	—	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼5
自然科学	生物学	1・2・3・4後		2								1
	人間工学	1・2・3・4後		2								1
	物理学	1・2・3・4前		2								1
	地球科学	1・2・3・4後		2								1
	数学	1・2・3・4前		2		1						1
小計(5科目)	—	—	0	10	0	1	0	0	0	0	0	兼2
外国語	ドイツ語Ⅰ	1・2前		1								1
	ドイツ語Ⅱ	1・2後		1								1
	フランス語Ⅰ	1・2前		1		1						1
	フランス語Ⅱ	1・2後		1		1						1
	中国語Ⅰ	1・2前		1			1					1
	中国語Ⅱ	1・2後		1			1					1
小計(6科目)	—	—	0	6	0	1	1	0	0	0	0	兼1
総合	グローバル社会を生きる	1前		2								2
	小計(1科目)	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ/健康	スポーツ実技Ⅰ	1前		1			1					
	スポーツ実技Ⅱ	1後		1			1					
	健康づくり運動論	2・3・4前		2			1					
小計(3科目)	—	—	0	4	0	0	1	0	0	0	0	兼0
情報	情報機器の操作Ⅰ	1前		2								2
	情報機器の操作Ⅱ	1後		2								2
	情報処理概論(未開講)	1後		2								1
小計(3科目)	—	—	2	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語	英語AⅠ	1前	1					1				3
	英語AⅡ	1後	1					1				3
	英語BⅠ	1前	1					1				3
	英語BⅡ	1後	1					1				3
	英語CⅠ	1前	1					1				3
	英語CⅡ	1後	1					1				3
	英語DⅠ	1前	1					1				3
	英語DⅡ	1後	1					1				3
	英語EⅠ	2前	1					1				3
	英語EⅡ	2後	1					1				3
	英語FⅠ	2・3・4前		1				1				1
	英語FⅡ	2・3・4後		1				1				1
	英語GⅠ	2・3・4前		1				1				1
	英語GⅡ	2・3・4後		1				1				1
	小計(14科目)	—	—	10	4	0	0	0	1	0	0	0
論理的思考	論理的思考法	1前		2								1
	論理的表現法	1後		2								1
	プレゼンテーションA (日本語)	1後		2								1
	プレゼンテーションB (English)	2・3・4前		2								1
小計(4科目)	—	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼2
人文科学	哲学	1・2・3・4前		2								1
	倫理学	1・2・3・4前		2								1
	宗教学	1・2・3・4後		2								1
	心理学概論	1・2・3・4前		2		1						1
	芸術学	1・2・3・4前		2								1
	日本文学史	1・2・3・4前		2		1						1
	史学概論	1・2・3・4前		2								1
小計(7科目)	—	—	0	14	0	2	0	0	0	0	0	兼3
社会科学	憲法	1・2前		2								1
	法学	1・2・3・4後		2								1
	政治学	1・2・3・4前		2								1
	経済学	1・2・3・4前		2								1
	経営学	1・2・3・4後		2								1
	社会学	1・2・3・4後		2								1
小計(6科目)	—	—	0	12	0	0	0	0	0	0	0	兼5
自然科学	生物学	1・2・3・4後		2								1
	人間工学	1・2・3・4後		2								1
	物理学	1・2・3・4前		2								1
	地球科学	1・2・3・4後		2								1
	数学	1・2・3・4前		2		1						1
小計(5科目)	—	—	0	10	0	1	0	0	0	0	0	兼2
外国語	ドイツ語Ⅰ	1・2前		1								1
	ドイツ語Ⅱ	1・2後		1								1
	フランス語Ⅰ	1・2前		1		1						1
	フランス語Ⅱ	1・2後		1		1						1
	中国語Ⅰ	1・2前		1			1					1
	中国語Ⅱ	1・2後		1			1					1
小計(6科目)	—	—	0	6	0	1	1	0	0	0	0	兼1
総合	グローバル社会を生きる	1前		2								2
	小計(1科目)	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ/健康	スポーツ実技Ⅰ	1前		1				1				
	スポーツ実技Ⅱ	1後		1				1				
	健康づくり運動論	2・3・4前		2				1				
小計(3科目)	—	—	0	4	0	0	1	0	0	0	0	兼0
情報	情報機器の操作Ⅰ	1前		2								2
	情報機器の操作Ⅱ	1後		2								2
	情報処理概論	1後		2								1
小計(3科目)	—	—	2	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育の基礎	教育学概論 [小]	1 前	2			1						
	教育学概論 [中・高]	1 前	2			1						
	教職論 [小]	1 前	2			1						
	教職論 [中・高]	1 前	2			1						
	教育行政学 [小]	1 後	2			1						
	教育行政学 [中・高]	1 後	2			1						
	教育課程論 [小]	1 後	2								1	
	教育課程論 [中・高]	1 後	2								1	
	教育方法論 [小]	2 前	2								1	
	教育方法論 [中・高]	2 前	2								1	
	教育法規 [小]	2 前	2			1						
	教育法規 [中・高]	2 前	2			1						
	教育時事問題	3 前	2				1					
	青少年と国際教育	3 前	2									1
小計 (14科目)	—	0	28	0	1	1	0	0	0	0	兼2	
教育を支える心理学	心身の発達と学習過程 [小]	1 後	2			1						
	心身の発達と学習過程 [中・高]	1 後	2			1						
	教育心理学	1 後	2			2						
	発達心理学	1 後	2			1						
	青年心理学	1 前	2			1						
	社会心理学	1 後	2			1						
	学校心理学	2 前	2			1						
	発達支援論	2 前	2			1						
	障がい児・者の心理学	2 前	2			1						
	家族心理学	2 後	2			1						
	臨床心理学	2 前	2			1						
	パーソナリティ心理学	2 前	2								1	
	健康心理学	2 後	2			1						
	小計 (13科目)	—	0	26	0	3	0	0	0	0	0	兼1
教育者としての専門性	道徳教育の理論と方法 [小]	2 前	2			1						
	道徳教育の理論と方法 [中]	2 前	2			1						
	特別活動の理論と方法 [小]	2 後	2								1	
	特別活動の理論と方法 [中・高]	2 後	2								1	
	生徒指導論 [小]	2 前	2								1	
	生徒指導論 [中・高]	2 前	2								1	
	学級経営論 [小]	2 後	1								1	
	学級経営論 [中・高]	2 後	1			1					1	
	進路指導論 [小]	2 後	1								1	
	進路指導論 [中・高]	2 後	1								1	
	教育相談 [小]	3 前	2			1						
	教育相談 [中・高]	3 後	2			1						
	教育における調査と統計	3 後	2			1						
	国際バカロレア教育研究	3 後	2									1
	ICTを活用した授業実践研究A	2 前	2									1
	ICTを活用した授業実践研究B	2 後	2									1
	青少年と情報メディア	3 後	2									1
小計 (17科目)	—	0	30	0	2	1	0	0	0	0	兼7	
児童教育の専門科目	国語科教育研究 (書写を含む)	1 前	2			1						
	社会科教育研究	1 前	2			1						
	算数科教育研究 I	1 前	2			1						
	算数科教育研究 II	1 後	2			1						
	理科教育研究 I	2 前	2				1					
	理科教育研究 II	2 後	2				1					
	生活科教育研究	1 前	2				1					
	音楽科教育研究 I	1 前	2			1						
	音楽科教育研究 II	1 後	2			1						
	図画工作科教育研究 I	1 前	2								1	
	図画工作科教育研究 II	1 後	2								1	
	家庭科教育研究	2 後	2								1	
	体育科教育研究 I	1 前	2			1						
	体育科教育研究 II	1 後	2			1						
	外国語活動研究	2 前	2								1	
小計 (15科目)	—	0	30	0	3	2	2	0	0	0	兼3	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育の基礎	教育学概論 [小]	1 前	2			1						
	教育学概論 [中・高]	1 前	2			1						
	教職論 [小]	1 前	2			1						
	教職論 [中・高]	1 前	2			1						
	教育行政学 [小]	1 後	2			1						
	教育行政学 [中・高]	1 後	2			1						
	教育課程論 [小]	1 後	2								1	
	教育課程論 [中・高]	1 後	2								1	
	教育方法論 [小]	2 前	2								1	
	教育方法論 [中・高]	2 前	2								1	
	教育法規 [小]	2 前	2			1						
	教育法規 [中・高]	2 前	2			1						
	教育時事問題	3 前	2				1					
	青少年と国際教育	3 前	2									1
小計 (14科目)	—	0	28	0	1	1	0	0	0	0	兼2	
教育を支える心理学	心身の発達と学習過程 [小]	1 後	2			1						
	心身の発達と学習過程 [中・高]	1 後	2			1						
	教育心理学	1 後	2			2						
	発達心理学	1 後	2			1						
	青年心理学	1 前	2			1						
	社会心理学	1 後	2			1						
	学校心理学	2 前	2			1						
	発達支援論	2 前	2			1						
	障がい児・者の心理学	2 前	2			1						
	家族心理学	2 後	2			1						
	臨床心理学	2 前	2			1						
	パーソナリティ心理学	2 前	2								1	
	健康心理学	2 後	2			1						
	小計 (13科目)	—	0	26	0	3	0	0	0	0	0	兼1
教育者としての専門性	道徳教育の理論と方法 [小]	2 前	2			1						
	道徳教育の理論と方法 [中]	2 前	2			1						
	特別活動の理論と方法 [小]	2 後	2								1	
	特別活動の理論と方法 [中・高]	2 後	2								1	
	生徒指導論 [小]	2 前	2								1	
	生徒指導論 [中・高]	2 前	2								1	
	学級経営論 [小]	2 後	1								1	
	学級経営論 [中・高]	2 後	1			1					1	
	進路指導論 [小]	2 後	1								1	
	進路指導論 [中・高]	2 後	1								1	
	教育相談 [小]	3 前	2			1						
	教育相談 [中・高]	3 後	2			1						
	教育における調査と統計	3 後	2			1						
	国際バカロレア教育研究	3 後	2									1
	ICTを活用した授業実践研究A	2 前	2									1
	ICTを活用した授業実践研究B	2 後	2									1
	青少年と情報メディア	3 後	2									1
小計 (17科目)	—	0	30	0	2	1	0	0	0	0	兼7	
児童教育の専門科目	国語科教育研究 (書写を含む)	1 前	2			1						
	社会科教育研究	1 前	2			1						
	算数科教育研究 I	1 前	2			1						
	算数科教育研究 II (未開講)	1 後	2			1						
	理科教育研究 I	2 前	2				1					
	理科教育研究 II	2 後	2				1					
	生活科教育研究	1 前	2				1					
	音楽科教育研究 I	1 前	2			1						
	音楽科教育研究 II	1 後	2			1						
	図画工作科教育研究 I	1 前	2								1	
	図画工作科教育研究 II (未開講)	1 後	2								1	
	家庭科教育研究	2 後	2								1	
	体育科教育研究 I	1 前	2			1						
	体育科教育研究 II (未開講)	1 後	2			1						
	外国語活動研究	2 前	2								1	
小計 (15科目)	—	0	30	0	3	2	2	0	0	0	兼3	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
英語教育の専門科目	英語学概論	1 後	2								1
	英文法	2 前	2								1
	イギリスの文学A	1 前	2		1						
	イギリスの文学B	1 後	2		1						
	アメリカの文学A	1 前	2								1
	アメリカの文学B	1 後	2								1
	英語コミュニケーションA	2 前	2				1				
	英語コミュニケーションB	2 後	2								1
	総合英語 I	2 前	2		1						
	総合英語 II	2 後	2		1						
	ヨーロッパの生活と文化A	1 前	2		1						
	ヨーロッパの生活と文化B	1 後	2								1
	イギリスの生活と文化	1 後	2		1						
	アメリカの生活と文化	1 前	2								1
小計 (14科目)	—	0	28	0	2	0	1	0	0	0	兼4
国語教育の専門科目	国語学概論	1 後	2			1					
	日本語の表現	2 前	2			1					
	日本語文章法	2 後	2			1					
	日本語のレトリック	2 前	2			1					
	国文学史A	1 前	2			1					
	国文学史B	1 後	2			1					
	日本の古典文学A	2 前	2			1					
	日本の古典文学B	2 後	2			1					
	日本の近代文学A	2 前	2			1					
	日本の近代文学B	2 後	2			1					
	中国の文学	2 前	2				1				
	漢文学 I	2 前	2				1				
	漢文学 II	2 後	2				1				
	書道	1 後	2			1					
小計 (14科目)	—	0	28	0	2	1	0	0	0	0	兼0
初等・中等教育法 (国語)	初等教科教育法 (国語)	2-3 前	2			1					
	初等教科教育法 (社会)	2-3 後	2			1					
	初等教科教育法 (算数)	2-3 後	2			1					
	初等教科教育法 (理科)	2-3 後	2				1				
	初等教科教育法 (生活)	2-3 前	2				1				
	初等教科教育法 (音楽)	2-3 後	2			1					
	初等教科教育法 (図画工作)	2-3 前	2								1
	初等教科教育法 (家庭)	2-3 後	2								1
	初等教科教育法 (体育)	2-3 後	2			1					
	初等教科教育法 (外国語活動)	2-3 後	2								1
	教職研究 I (教職実務 I) [小]	2 前	2		1		1				
	教職研究 II (教職実務 II) [小]	2 後	2		1		1				
	教育実習 I [小]	4 通	2		2	2	2				
	教育実習 II [小]	4 通	2		2	2	2				
	教育実習事前事後指導 [小]	4 通	1		2	2	2				
	教職実践演習 [小]	4 後	2		2						
小計 (16科目)	—	0	31	0	5	3	2	0	0	0	兼3
英語科教育法 I	英語科教育法 I	2 前	2								1
	英語科教育法 II	2 後	2								1
	英語科教育法 III	3 前	2								1
	英語科教育法 IV	3 後	2								1
	国語科教育法 I	2 前	2								1
	国語科教育法 II	2 後	2								1
	国語科教育法 III	3 前	2								1
	国語科教育法 IV	3 後	2								1
	教職研究 I (教職実務 I) [中・高]	2 前	2		1	1					
	教職研究 II (教職実務 II) [中・高]	2 後	2		1	1					
	教育実習 I [中・高]	4 通	2		3						
	教育実習 II [中]	4 通	2		3						
	教育実習事前事後指導 [中・高]	4 通	1		3						
	教職実践演習 [中・高]	4 後	2		2						
小計 (14科目)	—	0	27	0	4	1	0	0	0	0	兼2

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
英語教育の専門科目	英語学概論	1 後	2								1
	英文法	2 後	2								1
	イギリスの文学A	1 前	2		1						
	イギリスの文学B	1 後	2		1						
	アメリカの文学A	1 前	2								1
	アメリカの文学B	1 後	2								1
	英語コミュニケーションA	2 前	2				1				
	英語コミュニケーションB	2 後	2								1
	総合英語 I	2 前	2		1						
	総合英語 II	2 後	2		1						
	ヨーロッパの生活と文化A	1 前	2		1						
	ヨーロッパの生活と文化B	1 後	2								1
	イギリスの生活と文化	1 後	2		1						
	アメリカの生活と文化	1 前	2								1
小計 (14科目)	—	0	28	0	2	0	1	0	0	0	兼4
国語教育の専門科目	国語学概論	1 後	2			1					
	日本語の表現	2 前	2			1					
	日本語文章法	2 後	2			1					
	日本語のレトリック	2 前	2			1					
	国文学史A	1 前	2			1					
	国文学史B	1 後	2			1					
	日本の古典文学A	2 前	2			1					
	日本の古典文学B	2 後	2			1					
	日本の近代文学A	2 前	2			1					
	日本の近代文学B	2 後	2			1					
	中国の文学	2 前	2				1				
	漢文学 I	2 前	2				1				
	漢文学 II	2 後	2				1				
	書道	1 後	2			1					
小計 (14科目)	—	0	28	0	2	1	0	0	0	0	兼0
初等・中等教育法 (国語)	初等教科教育法 (国語)	2-3 前	2			1					
	初等教科教育法 (社会)	2-3 後	2			1					
	初等教科教育法 (算数)	2-3 後	2			1					
	初等教科教育法 (理科)	2-3 後	2				1				
	初等教科教育法 (生活)	2-3 前	2				1				
	初等教科教育法 (音楽)	2-3 後	2			1					
	初等教科教育法 (図画工作)	2-3 前	2								1
	初等教科教育法 (家庭)	2-3 後	2								1
	初等教科教育法 (体育)	2-3 後	2			1					
	初等教科教育法 (外国語活動)	2-3 後	2								1
	教職研究 I (教職実務 I) [小]	2 前	2		1		1				
	教職研究 II (教職実務 II) [小]	2 後	2		1		1				
	教育実習 I [小]	4 通	2		2	2	2				
	教育実習 II [小]	4 通	2		2	2	2				
	教育実習事前事後指導 [小]	4 通	1		2	2	2				
	教職実践演習 [小]	4 後	2		2						
小計 (16科目)	—	0	31	0	5	3	2	0	0	0	兼3
英語科教育法 I	英語科教育法 I	2 前	2								1
	英語科教育法 II	2 後	2								1
	英語科教育法 III	3 前	2								1
	英語科教育法 IV	3 後	2								1
	国語科教育法 I	2 前	2								1
	国語科教育法 II	2 後	2								1
	国語科教育法 III	3 前	2								1
	国語科教育法 IV	3 後	2								1
	教職研究 I (教職実務 I) [中・高]	2 前	2		1	1					
	教職研究 II (教職実務 II) [中・高]	2 後	2		1	1					
	教育実習 I [中・高]	4 通	2		3						
	教育実習 II [中]	4 通	2		3						
	教育実習事前事後指導 [中・高]	4 通	1		3						
	教職実践演習 [中・高]	4 後	2		2						
小計 (14科目)	—	0	27	0	4	1	0	0	0	0	兼2

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助			
専門科目	共通	教職研究Ⅲ(学校教育の今日的課題Ⅰ)	3前	2		1							
		教職研究Ⅳ(学校教育の今日的課題Ⅱ)	3後	2								1	
		教職研究Ⅴ(学校教育の今日的課題Ⅲ)	4前	2								1	
	小計(3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0	0	兼2	
	ゼミナール	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2					
		ゼミナールⅡ	2通	2			3	2					
		ゼミナールⅢ	3通	4			8	2	2				
		ゼミナールⅣ	4通	4			8	2	2				
	小計(4科目)	—	12	0	0	10	4	2	0	0	0	兼0	
	合計(173科目)	—	26	296	0	12	5	3	0	0	0	兼41	

卒業要件及び履修方法

<初等教育専攻>
必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。
① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。
② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論【小】』『教職論【小】』『教育行政学【小】』『教育課程論【小】』『教育方法論【小】』の5科目10単位修得。
③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程【小】』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。
④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法【小】』『特別活動の理論と方法【小】』『生徒指導論【小】』『学級経営論【小】』『進路指導論【小】』『教育相談【小】』の6科目10単位修得。
⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究(書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究』『理科教育研究』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。
⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法(国語)』『初等教育教育法(社会)』『初等教育教育法(算数)』『初等教育教育法(理科)』『初等教育教育法(生活)』『初等教育教育法(音楽)』『初等教育教育法(図画工作)』『初等教育教育法(家庭)』『初等教育教育法(体育)』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【小】』の10科目20単位修得。

<中等教育専攻>
必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。
① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。
② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論【中・高】』『教職論【中・高】』『教育行政学【中・高】』『教育課程論【中・高】』『教育方法論【中・高】』の5科目10単位修得。
③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程【中・高】』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。
④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法【中】』『特別活動の理論と方法【中・高】』『生徒指導論【中・高】』『学級経営論【中・高】』『進路指導論【中・高】』『教育相談【中・高】』の6科目10単位修得。
⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文化』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。
国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文章法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文学Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。
⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【中・高】』の3科目6単位修得。
国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【中・高】』の3科目6単位修得。

(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
専門科目	共通	教職研究Ⅲ(学校教育の今日的課題Ⅰ)	3前	2		1						
		教職研究Ⅳ(学校教育の今日的課題Ⅱ)	3後	2								1
		教職研究Ⅴ(学校教育の今日的課題Ⅲ)	4前	2								1
	小計(3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0	0	兼2
	ゼミナール	ゼミナールⅠ	1通	2			3	2				
		ゼミナールⅡ	2通	2			3	2				
		ゼミナールⅢ	3通	4			8	2	2			
		ゼミナールⅣ	4通	4			8	2	2			
	小計(4科目)	—	12	0	0	10	4	2	0	0	0	兼0
	合計(173科目)	—	26	296	0	12	5	3	0	0	0	兼41

卒業要件及び履修方法

<初等教育専攻>
必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。
① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。
② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論【小】』『教職論【小】』『教育行政学【小】』『教育課程論【小】』『教育方法論【小】』の5科目10単位修得。
③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程【小】』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。
④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法【小】』『特別活動の理論と方法【小】』『生徒指導論【小】』『学級経営論【小】』『進路指導論【小】』『教育相談【小】』の6科目10単位修得。
⑤ 専門科目『児童教育の専門科目』から『国語科教育研究(書写を含む)』『社会科教育研究』『算数科教育研究』『理科教育研究』の4科目8単位及び『生活科教育研究』『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『家庭科教育研究』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』の5教科8科目の中から3教科3科目6単位以上(ただし、『音楽科教育研究Ⅰ』『音楽科教育研究Ⅱ』『図画工作科教育研究Ⅰ』『図画工作科教育研究Ⅱ』『体育科教育研究Ⅰ』『体育科教育研究Ⅱ』から2教科2科目4単位以上含む)修得。
⑥ 専門科目『教職科目/小学校』から『初等教育教育法(国語)』『初等教育教育法(社会)』『初等教育教育法(算数)』『初等教育教育法(理科)』『初等教育教育法(生活)』『初等教育教育法(音楽)』『初等教育教育法(図画工作)』『初等教育教育法(家庭)』『初等教育教育法(体育)』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【小】』の10科目20単位修得。

<中等教育専攻>
必修科目として26単位、選択科目として共通科目・専門科目の中から100単位以上修得すること。ただし、選択科目には、次の①～⑥のとおり単位を修得し、これに含まれること。
① 共通科目『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得。
② 専門科目『教育の基礎』から『教育学概論【中・高】』『教職論【中・高】』『教育行政学【中・高】』『教育課程論【中・高】』『教育方法論【中・高】』の5科目10単位修得。
③ 専門科目『教育を支える心理学』から『心身の発達と学習過程【中・高】』2単位及び『教育心理学』『発達心理学』『学校心理学』『発達支援論』『障がい児・者の心理学』の5科目の中から4単位以上修得。
④ 専門科目『教育者としての専門性』から『道徳教育の理論と方法【中】』『特別活動の理論と方法【中・高】』『生徒指導論【中・高】』『学級経営論【中・高】』『進路指導論【中・高】』『教育相談【中・高】』の6科目10単位修得。
⑤ 英語コースの場合は、専門科目『英語教育の専門科目』から『英語学概論』『英文化』『イギリスの文学A』『アメリカの文学A』『英語コミュニケーションA』『総合英語Ⅰ』『ヨーロッパの生活と文化A』の7科目14単位及びその他6単位以上修得。
国語コースの場合は、『国語教育の専門科目』から『国語学概論』『日本語の表現』『日本語文章法』『日本の古典文学A』『日本の近代文学A』『漢文学Ⅰ』『書道』の7科目14単位、『国文学史A』又は『国文学史B』のいずれか2単位及びその他6単位以上修得。
⑥ 英語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『英語科教育法Ⅰ』『英語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【中・高】』の3科目6単位修得。
国語コースの場合は、専門科目『教職科目/中学校・高等学校』から『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』『教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ)【中・高】』の3科目6単位修得。

(履修科目の登録の上限：1～4年次45単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・ 履修希望者がいなかったために**未開講**となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育効果を高めるため、「情報処理概論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「ヨーロッパの生活と文化B」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（国語）」から「初等教科教育法（国語）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（社会）」から「初等教科教育法（社会）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（算数）」から「初等教科教育法（算数）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（理科）」から「初等教科教育法（理科）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（生活）」から「初等教科教育法（生活）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（音楽）」から「初等教科教育法（音楽）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（図画工作）」から「初等教科教育法（図画工作）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（家庭）」から「初等教科教育法（家庭）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（体育）」から「初等教科教育法（体育）」に変更。
- ・教職課程認定申請の変更により、授業科目の名称を「初等教育教育法（外国語活動）」から「初等教科教育法（外国語活動）」に変更。

【平成30年度】

- ・英語科目の担当教員変更に伴い、「英語FⅠ」「英語FⅡ」の兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・英語科目の担当教員変更に伴い、「英語GⅠ」「英語GⅡ」の兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「英文法」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。

【令和元年度】※平成29～30年度入学者

- ・英語科目の担当教員変更に伴い、「英語FⅠ」「英語FⅡ」の兼任・兼担の配置を「1」から「0」に変更。
- ・教育効果を高めるためのクラス分けにより、「哲学」「倫理学」「憲法」「社会学」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「体育科教育研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。

【令和元年度】※令和元年度入学者（教職再課程認定による授業科目）

- ・英語科目の担当教員変更に伴い、「英語FⅠ」「英語FⅡ」の兼任・兼担の配置を「1」から「0」に変更。
- ・教育効果を高めるためのクラス分けにより、「哲学」「倫理学」「憲法」「社会学」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教育方法論[小]」「教育方法論[中・高]」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「講師1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「特別な教育的ニーズの理解とその支援[小]」「特別な教育的ニーズの理解とその支援[中・高]」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)[小]」「総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)[中・高]」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「生徒指導論(教育課程論を含む)[小]」「生徒指導論(教育課程論を含む)[中・高]」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「教育相談と進路指導[小]」「教育相談と進路指導[中・高]」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「算数科教育研究Ⅰ」から「算数科教育研究」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「理科教育研究Ⅰ」から「理科教育研究」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「音楽科教育研究Ⅰ」から「音楽科教育研究」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「図画工作科教育研究Ⅰ」から「図画工作科教育研究」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「体育科教育研究Ⅰ」から「体育科教育研究」に変更。また、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「外国語活動研究」から「英語科教育研究」に変更。また、専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「教科教育研究A」「教科教育研究B」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、新規科目「英語文学A」「英語文学B」「Reading A」「Reading B」「Writing A」「Writing B」「Listening A」「Listening B」「Speaking A」「Speaking B」「異文化の理解に向けて」「英語圏の国々の歴史と文化」を追加。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「イギリスの文学A」から「イギリスの文学」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目の名称を「アメリカの文学A」から「アメリカの文学」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「初等教科教育法（体育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、授業科目名称を「初等教育教育法（外国語活動）」から「初等教科教育法（英語）」に変更。また、専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。

- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教職実践演習〔小〕」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅲ」「英語科教育法Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「国語科教育法Ⅰ」「国語科教育法Ⅱ」「国語科教育法Ⅲ」「国語科教育法Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「教授1」「准教授2」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「教職実践演習〔中・高〕」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更により、「ゼミナールⅢ」「ゼミナールⅣ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況【平成29～30年度入学者】				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
16 科目	157 科目	0 科目	173 科目	16 科目 [0]	157 科目 [0]	0 科目 [0]	173 科目 [0]	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）により、令和元年度入学者の教育課程を変更。
				変更状況【令和元年度入学者】				
				必修	選択	自由	計	
16 科目 [0]	149 科目 [Δ8]	0 科目 [0]	165 科目 [Δ8]					

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、〔 〕内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

【平成29～30年度入学者】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

【令和元年度入学者】※教職再課程認定による授業科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

【平成29～30年度入学者】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

【令和元年度入学者】※教職再課程認定による授業科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教育課程論 [小]	2	1	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
2	教育課程論 [中・高]	2	1	専門	選択	
3	生徒指導論 [小]	2	2	専門	選択	
4	生徒指導論 [中・高]	2	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更による科目の廃止。
5	教育法規 [小]	2	2	専門	選択	
6	教育法規 [中・高]	2	2	専門	選択	
7	学級経営論 [小]	1	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
8	学級経営論 [中・高]	1	2	専門	選択	
9	進路指導論 [小]	1	2	専門	選択	
10	進路指導論 [中・高]	1	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
11	教育相談 [小]	2	3	専門	選択	
12	教育相談 [中・高]	2	3	専門	選択	
13	算数科教育研究Ⅱ	2	1	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更による科目の廃止。
14	理科教育研究Ⅱ	2	2	専門	選択	
15	音楽科教育研究Ⅱ	2	1	専門	選択	
16	図画工作科教育研究Ⅱ	2	1	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
17	体育科教育研究Ⅱ	2	1	専門	選択	
18	イギリスの文学B	2	1	専門	選択	
19	アメリカの文学B	2	1	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う科目の統廃合による廃止。
20	英語コミュニケーションA	2	2	専門	選択	
21	英語コミュニケーションB	2	2	専門	選択	
22	総合英語Ⅰ	2	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴う教育課程の変更による科目の廃止。
23	総合英語Ⅱ	2	2	専門	選択	

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
24	教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ) [小]	2	2	専門	選択	・教育職員免許法及び施行規則の改正(再課程認定)に伴う教育課程の変更による科目の廃止。
25	教職研究Ⅱ(教職実務Ⅱ) [小]	2	2	専門	選択	
26	教職研究Ⅰ(教職実務Ⅰ) [中・高]	2	2	専門	選択	
27	教職研究Ⅱ(教職実務Ⅱ) [中・高]	2	2	専門	選択	
28	教職研究Ⅲ(学校教育の今日的課題Ⅰ)	2	3	専門	選択	
29	教職研究Ⅳ(学校教育の今日的課題Ⅱ)	2	3	専門	選択	
30	教職研究Ⅴ(学校教育の今日的課題Ⅲ)	2	4	専門	選択	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和元年度からの教育職員免許法及び施行規則の改正(再課程認定)に伴う教育課程の変更(廃止科目)については、経過措置として変更前の教育課程適用学生(平成29~30年度入学者)の履修状況等を考慮した上で、令和2年度以降の開講を決定する予定(令和元年度は対象科目全て開講)。
 なお、学生に対しては、毎年度4月の履修ガイダンス時に学年ごとに「履修に関する説明」を実施し、周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

【平成29~30年度入学者】

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{173} = \boxed{0}\%$$

【令和元年度入学者】※教職再課程認定による授業科目

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{30}{173} = \boxed{17.34}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設 置 時 (29年4月)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項 (29)退職等による後任補充にあたっては、教育・研究水準の維持に留意しつつ、教育組織の継続性を担保できるよう、専門領域、職位、年齢構成のバランスに配慮しながら公募を行うとともに、若手教員の昇任人事を視野に入れて研究活動を奨励していく。	履行中 留意事項として付された定年規程に定める退職年齢を超える教員7名については、任期満了後の専任教員欠員による採用計画において、高齢化を是正し、かつバランスのよい年齢構成の教員編成に配慮しながら完成年度となる平成32年度内に教員採用を行う予定である。
設置計画履行状況調査時 (30年2月)	・教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見 (30)退職等による後任補充にあたっては、引き続き教育・研究水準の維持に留意しつつ、教育組織の継続性を担保できるよう、専門領域、職位、年齢構成のバランスに配慮しながら公募を行うとともに、若手教員の昇任人事を視野に入れて研究活動を奨励していく。	履行中 改善意見のあった、定年規程に定める退職年齢を超える教員7名については、任期満了後の専任教員欠員による採用計画において、高齢化を是正し、かつバランスのよい年齢構成の教員編成に配慮しながら完成年度となる平成32年度内に教員採用を行う予定である。
設置計画履行状況調査時 (31年3月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 入学者選抜方法及び選抜体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦入試（指定校・公募）の選抜方法 書類審査と面接によって教育者としての適性と幅広い知識と学力を測る。 	<p>① 推薦入試（指定校・公募）の選抜方法について、公募推薦の場合のみ小論文を追加。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「FD推進センター」（委員5名：教育学部2名、国際教養学部3名）により、授業方法、内容等の改善に取り組み、大学としての教育力の向上を図っている。 ※「FD推進センター規則」添付 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD推進センター会議は、平成31年4月24日（水）に第1回が開催され、副学長と委員5名全員、及び担当事務員が列席した。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度のFD活動について（前年度の踏襲とその活性化への方策） ・学生参加型FDの試み ・FD研修について <p>② 実施状況（平成30年度実績）</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBによる授業アンケート ・紙媒体による授業アンケート ・授業の全面公開（教員相互の授業見学） ・授業実践報告会 ・外部講師を招いてのICT研修会 ・学生参加型FDの試み <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBによる授業アンケート 授業実施期間を通して、WEBによる授業アンケートを実施 ・紙媒体による授業アンケート 後期第14回 or 第15回の授業において実施 ・授業の全面公開（教員相互の授業見学） 専任・非常勤を問わず、すべての授業の随時見学が可能 ・授業実践報告会 全専任教員を5グループに分けて、年間5回実施
--

- ・外部講師を招いてのICT研修会
「ICT研修会：アクティブ・ラーニングの手法を通して」
 - ・学生参加型FDの試み
FD推進センター委員と学生FD委員がペアになったの授業見学
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・WEBによる授業アンケート
 - ・紙媒体による授業アンケート
 - ・授業の全面公開（教員相互の授業見学）
 - ・授業実践報告会
5月・6月・7月・11月・1月に実施（専任教員の平均参加率75%）
 - ・外部講師を招いてのICT研修会
10月に実施（専任教員の約90%が参加）
 - ・学生参加型FDの試み
2ペアが授業見学を実施
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・WEBによる授業アンケート、授業の全面公開（教員相互の授業見学）、授業実践報告会を踏まえ、授業づくりのための教員間の議論を促していく。
 - ・紙媒体による授業アンケートに関しては、結果を担当者に返し、それを受けての改善案を提出
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - ・授業実施期間を通して、WEBによる授業アンケートを実施
 - ・前期末と後期末に、紙媒体による授業アンケートを実施
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・WEBによるアンケート結果は、授業担当者、学長、学部長、FD推進センター長へ同時配信され、授業担当者は授業の中で受講生全員に回答
 - ・紙媒体によるアンケート結果は、集計結果をHPの「学内ポータル」にアップし、学生が閲覧できるようにした。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- 教育学部は、教育を通して社会に貢献する使命感を持ち、教育に対する深い理解と専門的な知識並びに実践的指導力を有し、新しい教育的な課題に対応できる教育者の養成を主たる目的としている。
- 平成29年度及び平成30年度は、授業科目の概要、教員組織については、設置の趣旨・目的に沿って、設置時の計画とおりに履行した。
- また、開設3年目となる今年度（令和元年度）においては、教育職員免許法及び施行規則の改正（再課程認定）に伴い、今年度（令和元年度）入学者より教育課程の変更はあったが、設置の趣旨・目的に沿って、順調に開始している。
- 完成年度に向け、引き続き学生確保に努めていくと共に、学部の目的を達成するために設置計画を確実に実行に移していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和2年7月末日 公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和2年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受け、「適合」認定を得た。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年7月末日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

開智国際大学FD推進センター規則

(平成22年9月22日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、開智国際大学（以下、「本学」という。）において、ファカルティ・ディベロップメント（以下、「FD」という。）を推進するための実施体制等について定める。

(FDの定義)

第2条 FDとは、本学の教育理念並びに教育目標に基づき、教員の自主的・自律的な教育改善を推進する活動（教育研究の向上、促進を含む）とそれを支援するため、教職員が協働して組織的な研修及び研究をする活動をいう。

(業務)

第3条 FD推進センター（以下、「センター」という。）は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) FDに関する情報の収集及び提供
- (2) 授業アンケートの実施
- (3) 授業公開の実施
- (4) FD推進のための研究会等の実施
- (5) その他FD推進、実施に関すること

(センター長)

第4条 センターにセンター長1名を置く。

- 2 センター長はセンターの業務を統括し、センターを代表する。
- 3 センター長は本学専任教員の中から学長が指名する。
- 4 センター長の任期は2年とし、再任は妨げない。

(センター運営委員)

第5条 センターにセンター運営委員を若干名置く。

- 2 センター運営委員はセンター会議を構成し、センター長統括のもとセンターの運営にあたる。
- 3 センター運営委員は本学専任教員の中から学長が指名する。
- 4 センター運営委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(センター会議)

第6条 センターにセンター会議を置く。

- 2 センター会議は、センター長が召集し、その議長となる。
- 3 センター会議は、次の各号に掲げる審議を行う。
 - (1) 授業アンケートに関すること
 - (2) 授業公開に関すること
 - (3) FD推進のための研究会等に関すること
 - (4) その他FDに関すること

(センターの事務)

第7条 センターの事務は、総務会計課が処理する。

附 則

この規則は、平成22年9月22日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。